



Retoucher

Image Restoration & Retouching



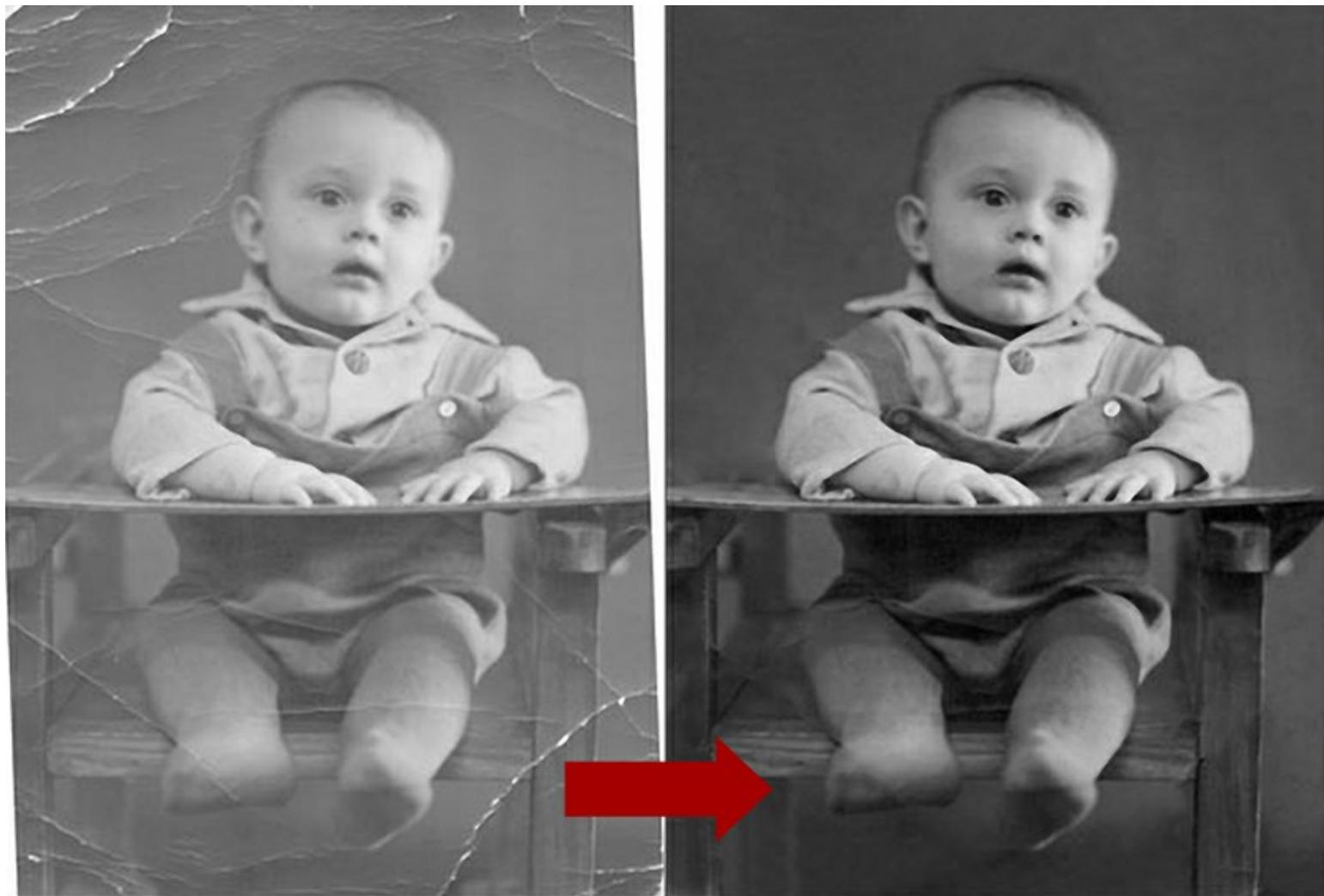
CONTENTS

- アプリケーションの用途
- Windowsでのインストール
- Macでのインストール
- プログラムの登録
- 操作方法
 - ワークスペース
 - 操作方法
 - ツールバー
 - パラメータ
 - ビネット
 - 環境設定
 - バッチ処理
 - 印刷
- 操作例
 - ダゲレオタイプの修復
 - 檻の中の雌ライオン: 鉄格子を除去
 - 古い家族写真の修復
 - 画像内を広範囲に除去
- AKVISプログラム

AKVIS RETOUCHER 11.0 | 画像修復ソフトウェア

AKVIS Retoucherは、画像の修復やレタッチのための効果的なツールです。

AKVIS Retoucherはチリ、傷、しみ、色あせなどを修整するだけでなく、写真の欠損部分を周囲の情報をもとに再現できます。



処理は自動で行われるため、修整部分を選択し、[実行]ボタンを押す・・・これだけで表面はなめらかになり、欠陥は消えてなくなります。目の前で、傷が跡形もなく消えてゆくさまは、さながら魔法のようです。



AKVIS Retoucherは、画像の構図を改善できる便利なツールです。日付の印字を消すことはもちろん、小さな不要部分(ワイヤー、ごみ箱など)や間違って写真に入った人や背景の車など大きなものをも消すことができます。

メインの被写体を中心に持ってくるために、写真のサイズを変更(片側のみまたは両側に均等に)する場合、AKVIS Retoucherは新たにできた空白の部分をイメージの続きで埋めることができます。



ポリグラフを作成する方であれば、AKVIS Retoucherが印刷前工程を行うのに便利なソフトだと思ってしまうでしょう。多くの場合、切り取りスペースのないレイアウトの余白の拡張で頭を悩ませる場合が多いからです。

AKVIS Retoucherは次の作業を短時間で効率よく処理できるので、時間を大幅に節約できます。

AKVIS Retoucherは以下の用途で使用できます。

- 家族が大事に保管していた古く傷んだ写真のチリ、傷、しみ、色あせなどを取り除いて修復
- 日付、小さな不要部分(ワイヤやごみ箱など)を消去、写真のサイズを変更(サイズを大きくすると、周辺情報から新たにイメージを生成)して、写真の構成を改善
- 画像の欠損部分の再現(破れた写真の修復、ポリグラフで切り取るためのスペースのないレイアウトの余白部分を広げる)
- 車、人、建物等、より大きくて複雑な部分を消去



AKVIS Retoucherは、生産性を向上させるための便利なツールです。

AKVIS Retoucherは、独立したスタンドアロンプログラムとしても、お使いのフォトエディタのプラグインとしても使用できます。
ライセンスの種類によってプログラムの機能が異なります。

プラグイン版はAliveColors、Adobe Photoshop、Photoshop Elements、PaintShop Proなどと互換性があります。
プラグインの互換性に関する詳細は、[対応表](#)をご覧ください。

インストール

AKVIS Noise Buster を Windows OS 搭載の PC にインストールするには、次の指示に従います。

- セットアップ用の exe ファイルをダブルクリックして起動させます。
- 言語を選択し、[OK]をクリックするとインストール画面が表示されます。
- インストールを続行するには、**ライセンス契約書**を読み、同意する必要があります。

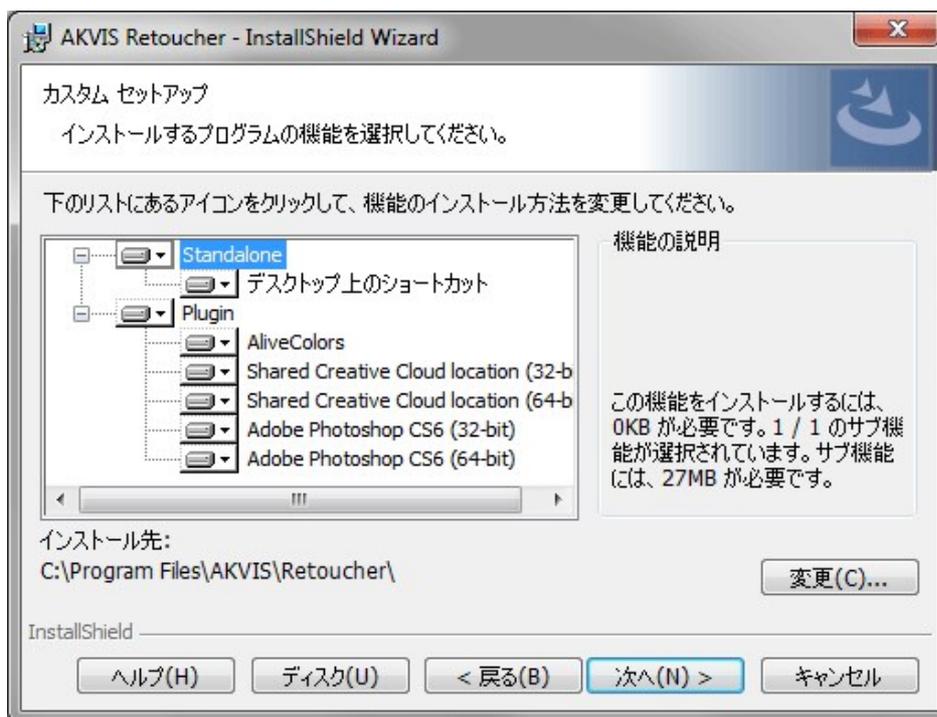
[使用許諾契約の条項に同意します]チェックボックスをオンにして、[次へ]をクリックします。



- プラグイン版をインストールする場合は、一覧から使用するフォトエディターを選択します。

スタンドアロン版をインストールする場合、[Standalone]が選択されていることを確認ください。
デスクトップにプログラムのショートカットを作成する場合、[デスクトップにショートカットを作成]を選択します。

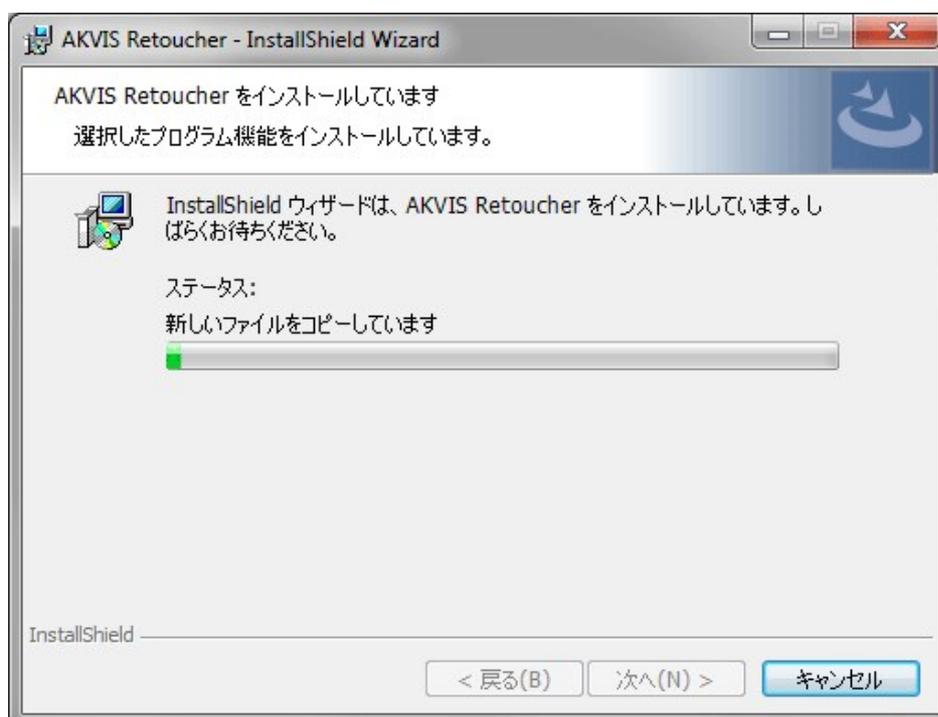
[次へ]をクリックします。



- [インストール]ボタンをクリックします。

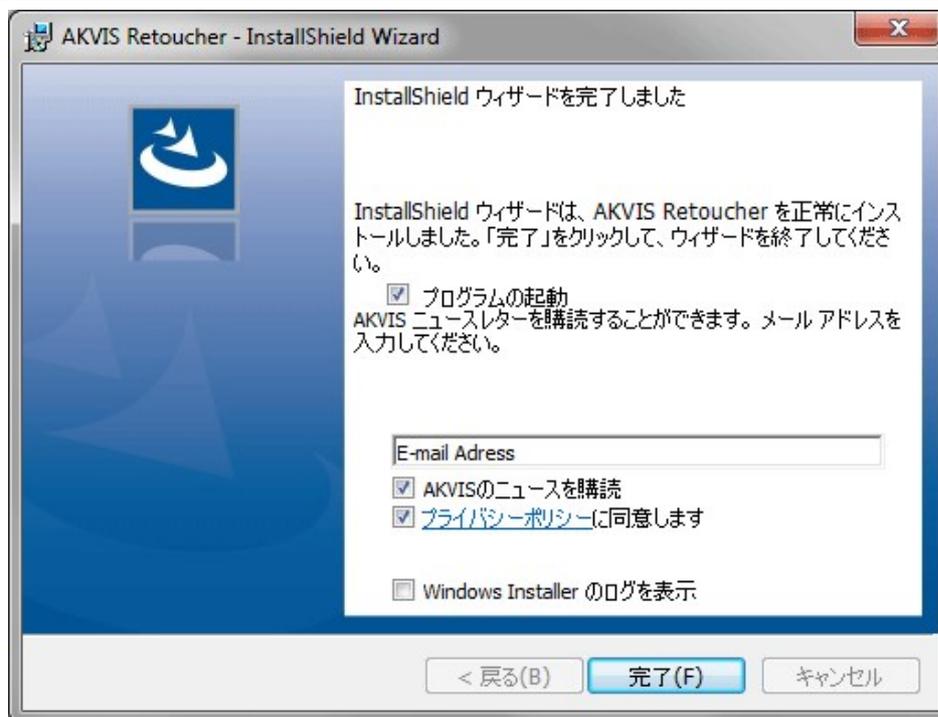


- インストール処理が開始されます。



- これでインストールは完了です。

AKVIS ニュースレターの購読を申し込むと、アップデート、イベント、割引キャンペーン等についてのお知らせを受け取ることができます。メールアドレスを入力し、プライバシーポリシーを確認し、同意する必要があります。



- **【終了】**をクリックします。

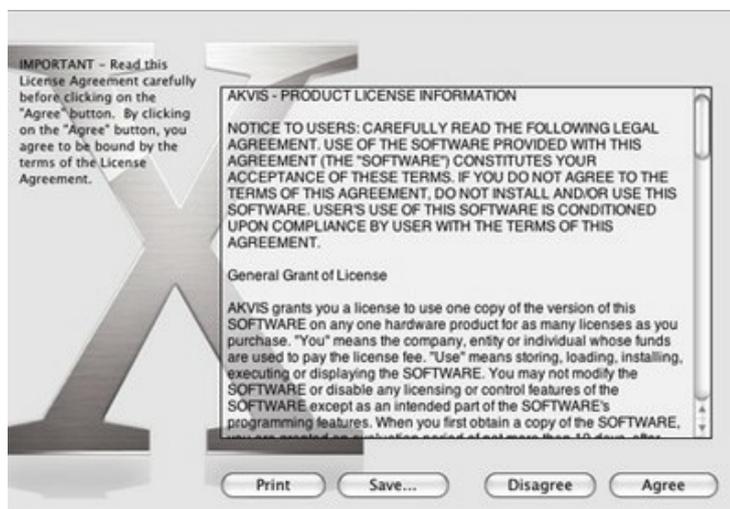
スタンドアロン版をインストールすると、**【スタート】**メニューにプログラムの新しい項目が追加されます。[デスクトップにショートカットを作成]オプションを選択した場合、デスクトップにショートカットも追加されます。

プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの**【フィルター】**または**【効果】**メニューに新しいアイテムが追加されます。**Photoshop** の場合、**【フィルター】** > **【AKVIS】**> **【Noise Buster】**となります。

インストール

AKVIS Retoucher を Mac PC にインストールするには、次の指示に従います。

- **dmg** ファイルを開きます：
 - akvis-retoucher-app.dmg (スタンドアロン版をインストールする場合)
 - akvis-retoucher-plugin.dmg (プラグイン版をフォトエディターにインストールする場合)
- ライセンス使用許諾契約書を読み、同意する場合は、[Agree(同意)] をクリックします。



- Finder が開き、AKVIS Retoucher App または AKVIS Retoucher PlugIn フォルダが表示されます。

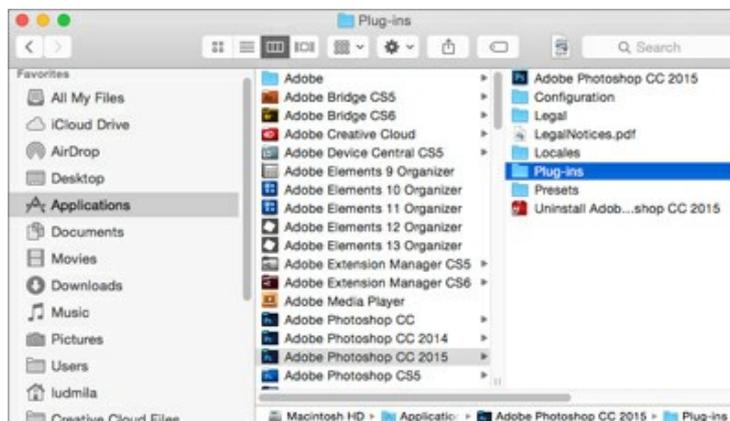


- スタンドアロン版をインストールするには、AKVIS Retoucher アプリケーションを [Applications] フォルダ、または希望の保存先にドラッグします。
プラグイン版をインストールするには、[AKVIS Retoucher PlugIn]フォルダを、グラフィック エディターの[Plug-Ins]フォルダにドラッグします。

Photoshop CC 2020, CC 2019, CC 2018, CC 2017, CC 2015.5 の場合、Library/Application Support/Adobe/Plug-Ins/CC

Photoshop CC 2015 の場合、Applications/Adobe Photoshop CC 2015/Plug-ins

Photoshop CS6 の場合、Applications/Adobe Photoshop CS6/Plug-ins に移動させます。



プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの[フィルター]メニューに新しいアイテムが追加されます。Photoshop の場合は、[フィルター] > [AKVIS] > [Retoucher]が追加されます。

スタンドアロン版は、Finder のアイコンをダブルクリックすることにより実行します。

AKVIS プログラムを実行する別の方法は、[Image]メニューの[Edit With]コマンドから、**Photos** アプリケーションを選択することです (High Sierra 以降の macOS)。

AKVIS製品のアクティベーション方法

注意: この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

インターネット接続環境がない場合、別の方法でのアクティベーションも提供しています(詳細は「[オフライン アクティベーション](#)」を参照)。

AKVIS Retoucher をダウンロードし、プログラムをインストールしてください。インストール方法の詳細はこちら。

アクティベーションを行っていないプログラムを起動すると、スプラッシュ ウィンドウが表示され、バージョン情報や試用期間の残り日数等を知らせてくれます。

[バージョン情報]ウィンドウは、プログラムのコントロールパネル内の  ボタンをクリックして表示することもできます。



ソフトウェアを試しに使う場合は、**【試用】**をクリックします。新しいウィンドウが開き、試用可能なライセンスの一覧が表示されます。

ソフトウェアのすべての機能を試用するために、試用版をアクティベートする必要はありません。プログラムを試用期間の10日間、使用するだけです。

試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。使用するバージョンを選択します。Home(プラグイン/スタンドアロン)、Home Deluxe またはBusinessから選択します。選択するライセンスによってプログラムで利用できる機能が異なります。ライセンスの種類やソフトウェアのバージョンに関する詳細は、[比較表](#)を参照してください。

試用期間が終了している場合、**【試用】** ボタンは選択できません。

【購入】ボタンをクリックして、購入するライセンスを選択してください。

支払いが完了するとすぐに、プログラム用のシリアル番号が送られます。

アクティベーション処理を開始するには、**【アクティベート】**をクリックします。

AKVIS Retoucher
Version 8.0.1073M.13606
✖

ACTIVATION

Customer Name:

Serial Number (Key):

Direct connection to the activation server
 Send a request by e-mail

Lost your serial number? [Restore it here.](#)

Activation problems? [Contact us.](#)

[Copy HWID.](#)



ACTIVATE



CANCEL

©2004-2016 AKVIS. All rights reserved.

お客様名を入力します (プログラムはこの名前登録されます)。

シリアル番号 (アクティベーション キー) を入力します。

アクティベーション方法 (アクティベーション サーバーへの直接接続または電子メール) を指定します。

アクティベーション サーバーへの直接接続:

直接接続を利用して登録を行う方が安全かつ迅速に処理が行えますので、弊社ではその方法を推奨しています。

この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

[アクティベート]をクリックします。

これでアクティベーションは完了です!

電子メールでリクエストを送信:

[電子メールでリクエストを送信]を選択した場合、プログラムによって、必要な情報をすべて含んだ新規メールが作成されます。

注意: この方法は、オフライン アクティベーションでも利用できます。

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、USB 等を利用して、インターネットに接続されているコンピューターにアクティベーションに関するデータを移動させます。情報の送り先: activate@akvis.com までお送りください。

スクリーンショットを添付しないでください! テキストだけをコピーして、保存してください。

必要な情報は、ソフトウェアのシリアル番号、お客様名、コンピューターのハードウェアID (HWID) です。

この情報を元に、ライセンス ファイル(Retoucher.lic) を作成し、登録されているメールアドレスにお送りします。

この .lic ファイルを開けずに保存します。保存先は、ソフトウェアをアクティベートするコンピューターの **[AKVIS]**フォルダー ([ユーザー] > [パブリック] > [パブリックのドキュメント]) です。

- Windows 7/8/10 の場合:

Users\Public\Documents\AKVIS;

- Mac の場合:

Users/Shared/AKVIS

これでアクティベーションは完了です!

プログラムがアクティベート済みの場合、[購入]は[アップグレード]に変わり、ライセンスのアップグレードができるようになります。たとえば、Home から Home Deluxe または Business へのアップグレードができます。

ワークスペース

AKVIS Retoucherは、独立したスタンドアロン プログラムとしても、お使いのフォトエディタのプラグインとしても使用できます。

スタンドアロンは独立したプログラムでプログラムのアイコンをクリックして開くことができます。

スタンドアロン版を起動する方法:

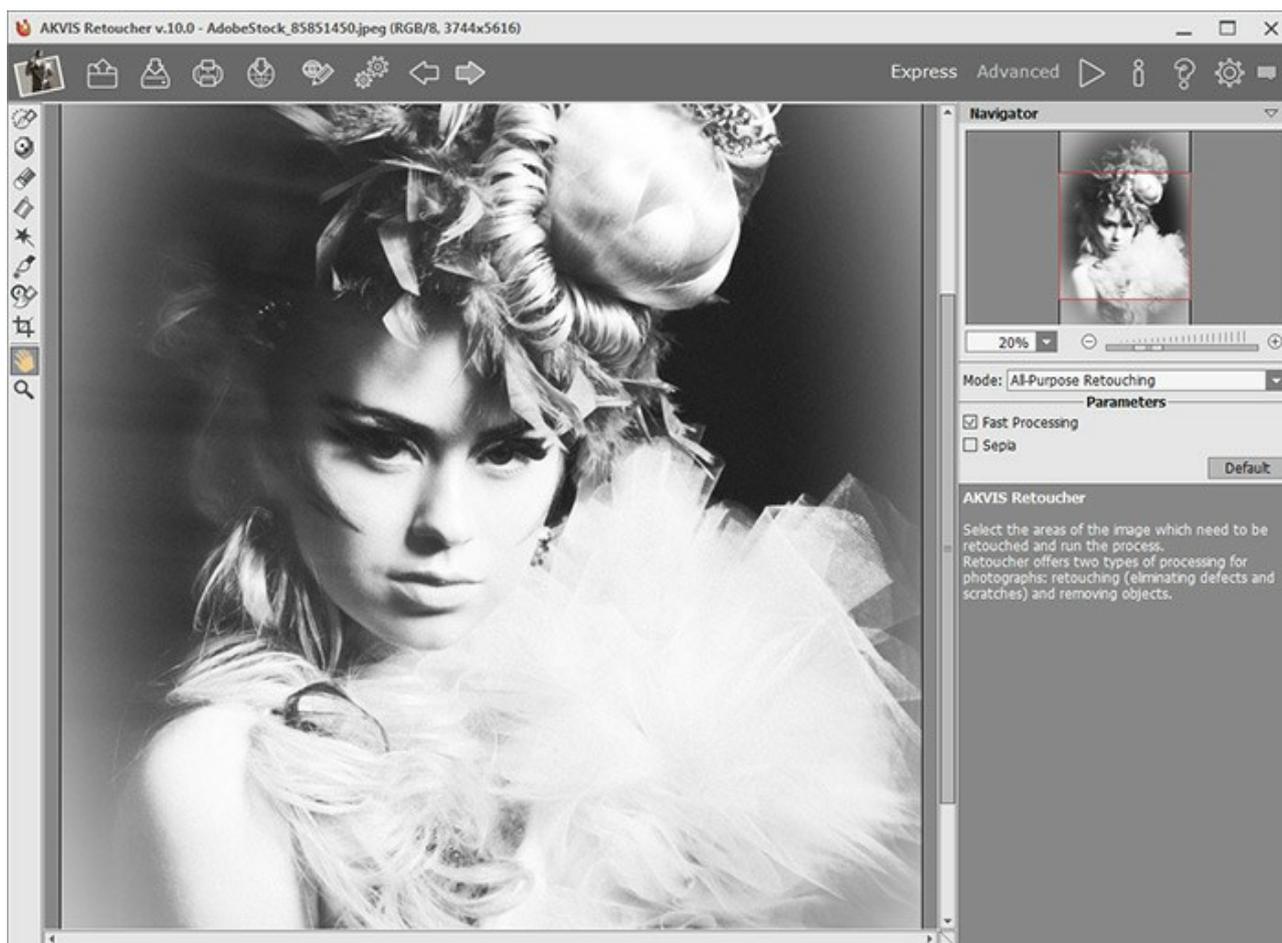
Windows コンピューターの場合: **[スタート]** メニューまたはプログラムのショートカットを使用します。

Mac コンピューターの場合: **[アプリケーション]** フォルダからアプリを起動します。

プラグインは、Photoshop等の**フォトエディター**のアドオンとして動作します。

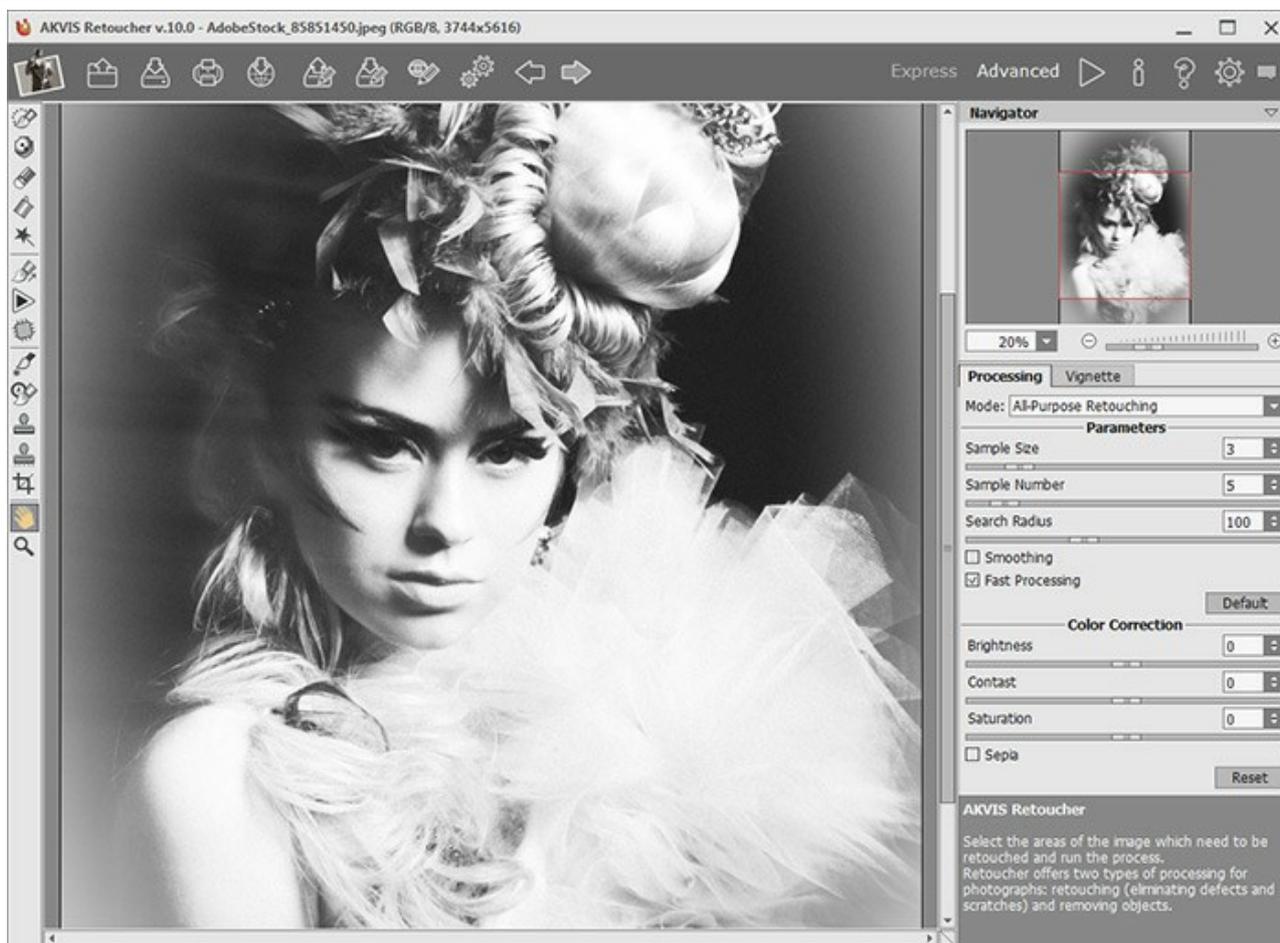
プラグイン版を呼び出すには、イメージエディターのフィルターから選択します。

ワークスペースのビューは、コントロールパネルで**簡易モード**、または**詳細モード**のどちらを選ぶかで異なります。簡易モードは、非常にシンプルなインターフェースと最低限のツールだけである程度の結果を短時間で得ることができます。



AKVIS Retoucherのワークスペース(簡易モード)

詳細モードでは、すべてのオプションとツールが利用できます。



AKVIS Retoucherのワークスペース(詳細モード)

プログラムのワークスペースの大部分を占めるイメージウィンドウの上部には、以下のボタンを含むコントロールパネルがあります。



AKVIS RetoucherのWebページに移動。



編集するイメージを開きます(スタンドアロン版のみ)。



処理したイメージをディスクに保存します(スタンドアロン版のみ)。



イメージを印刷します(スタンドアロン版のみ)。



ソーシャルネットワークに画像を投稿することができます。



.retouchファイルに保存されている選択範囲を読み込みます。



選択範囲を別の.retouch形式のファイルに保存します。



選択範囲の表示/非表示を切り替えます。



[バッチ処理] ダイアログボックスを開き、複数のイメージを自動的に処理します(スタンドアロン版のみ)。



最後の操作を取り消します。このボタンを複数回クリックすることで、複数の操作をキャンセルできます。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl** + **Z** キー、Mac の場合 **⌘** + **Z** キーです。



は **←** の実行で取り消した変更をレストアします。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl** + **Y** キー、Mac の場合 **⌘** + **Y** キーです。



処理を開始します。



結果を適用し、AKVIS Retoucherのプログラム ウィンドウを閉じます(プラグイン版のみ)。



バージョン情報を表示します。



このプログラムのヘルプファイルを開きます。



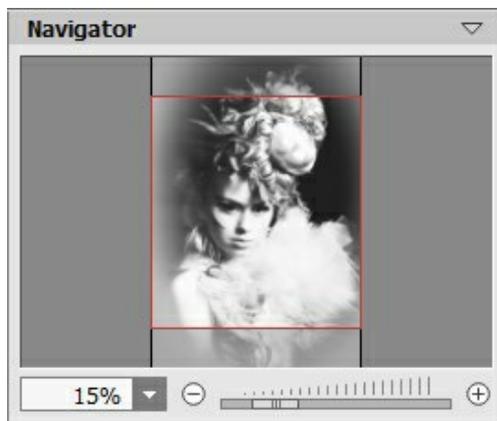
[環境設定]ダイアログボックスを開きます。



: このボタンは、Retoucherに関する最新ニュースを表示するウィンドウを開きます。

イメージ ウィンドウの左側には、ツールバーがあります。簡易/詳細モードのどちらの編集モードを使用中かによって表示されるツールは異なります。ツールのパラメータは、イメージ上を右クリックして表示されるボックスと。

イメージをナビゲートしたり、拡大/縮小するにはナビゲータ ウィンドウを使用します。ナビゲータ ウィンドウには、イメージの縮小版が表示されます。赤枠で囲まれた領域は、現在イメージ ウィンドウに表示されている領域です。赤枠の外はグレー表示になり、イメージ ウィンドウに表示されません。表示されていない部分に赤枠を重ねると表示できます。赤枠を動かすには、ナビゲータ ウィンドウの赤枠の内側にカーソルを置き、目的の位置までドラッグするだけです。



ナビゲータ ウィンドウ

イメージ ウィンドウで画像をスクロールするには、キーボードのスペースバーを押しながら画像をドラッグします。マウスのスクロールホイールを使うと、イメージは上下に動き、**Ctrl** (Macでは \mathbb{C})を押しながらの場合は左右に動き、**Alt** (Macでは \mathbb{O})を押しながらの場合は拡大/縮小されます。スクロールバーを右クリックすると、クイックナビゲーション メニューが表示されます。

スライダまたは \oplus や \ominus を使用して、イメージ ウィンドウ内のイメージを拡大/縮小することができます。 \oplus をクリックするか、スライダを右に動かすと、イメージは拡大されます。 \ominus をクリックするか、スライダを左に動かすと、イメージは縮小されます。

さらに、[拡大/縮小]欄に値を入力してイメージを拡大/縮小することもできます。プルダウンメニューには、使用頻度の高い値が表示されます。

ホットキーを使用して、画像を拡大/縮小することもできます。拡大する場合は \oplus キーおよび **Ctrl** + \oplus キー (Macでは \mathbb{C} + \oplus キー)、縮小する場合は \ominus キーおよび **Ctrl** + \ominus キー (Macでは \mathbb{C} + \ominus キー)を使用します。

ナビゲータウィンドウの下には、ツールのパラメータなどを含む設定パネルがあります。

設定パネルの下には、カーソルをパラメータやボタンに合わせた場合にヒントが表示されます。

操作方法

写真の修復を行うには、AKVIS Retoucherを次の手順に従って操作してください。

ステップ 1: 不具合箇所を修復または編集する画像を開きます。

- スタンドアロン版で作業する場合:

画像を開くには、ワークスペースの空き領域をダブルクリックするか、コントロールパネルの



をクリックします。スタンドアロン版

は、RAW、JPEG、PNG、BMP、TIFF ファイル フォーマットをサポートしています。

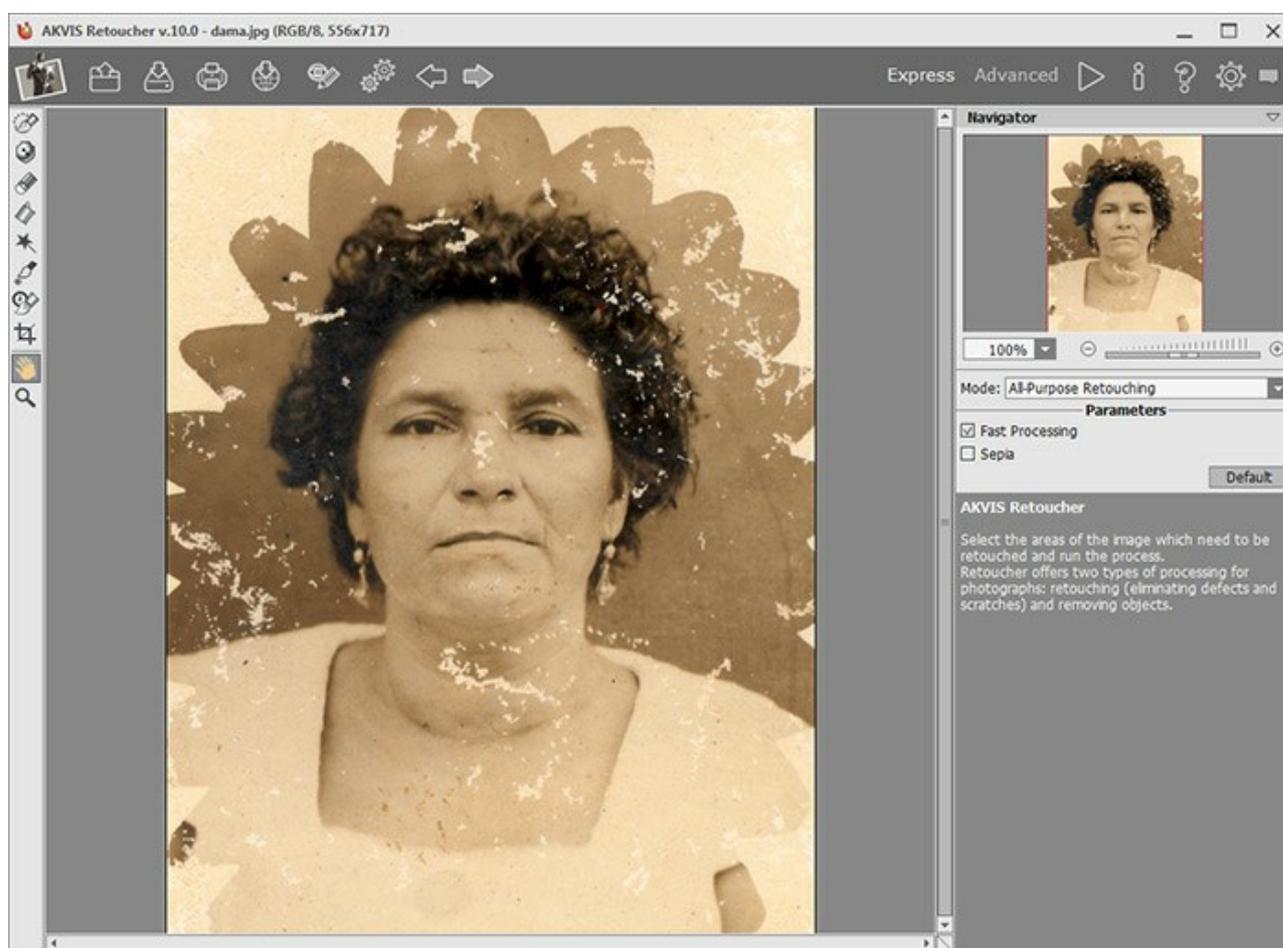
プラグイン版で作業する場合:

お使いのフォトエディターでイメージを開くには、【ファイル】>【開く】コマンドを実行するか、ホットキーである **Ctrl + O** キー、Mac の場合 **⌘ + O** キーです。

その後、フォトエディターの[フィルター (または効果)]メニューから AKVIS Retoucher プラグインを呼び出します。

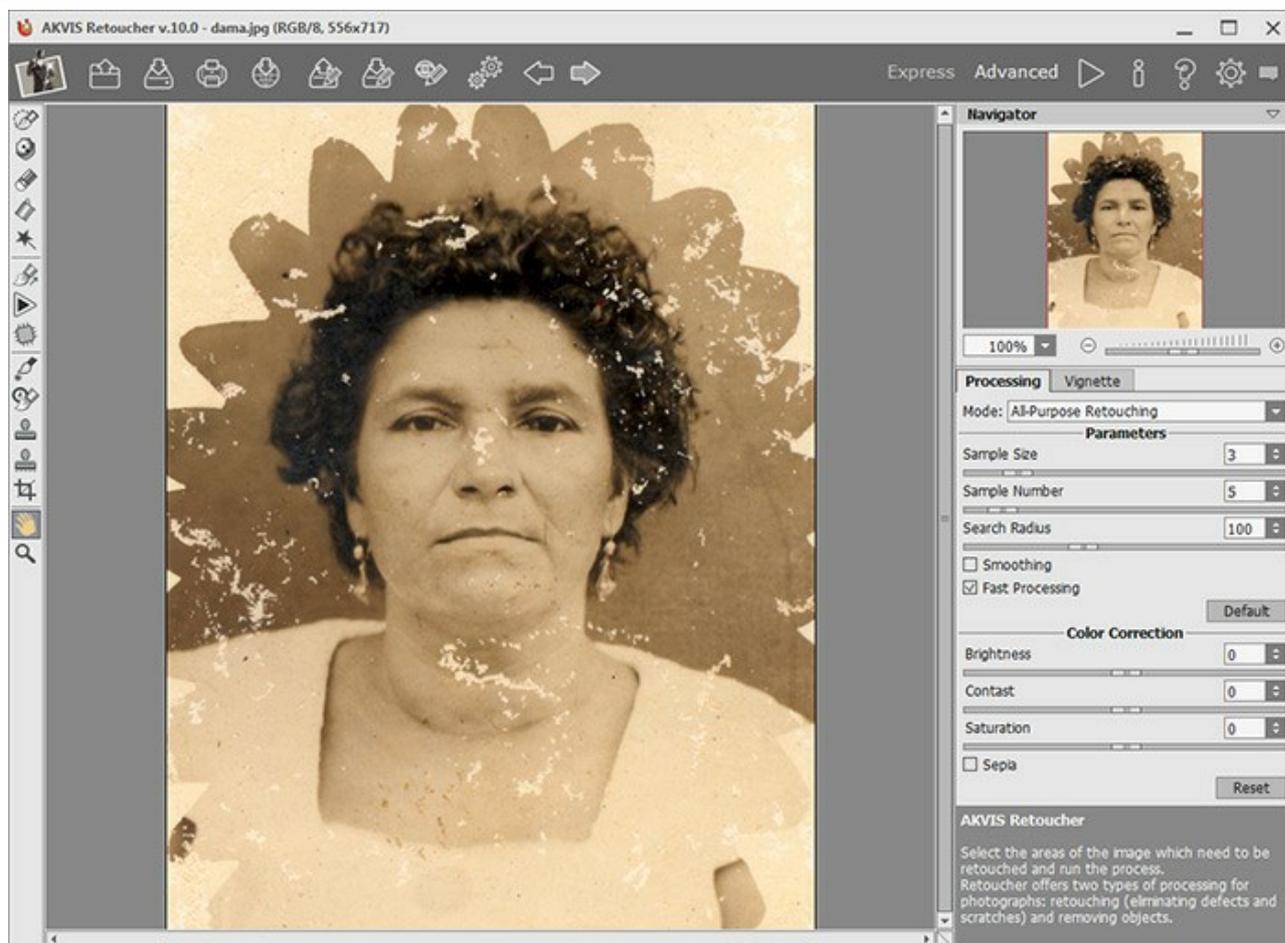
AliveColors の場合、[効果] > [AKVIS] > [Retoucher]、
 Adobe Photoshop の場合、[フィルター] > [AKVIS] > [Retoucher]、
 Corel Paint Shop Pro の場合、[効果] > [プラグイン] > [AKVIS] > [Retoucher]、
 Corel Photo-Paint の場合、[効果] > [AKVIS] > [Retoucher] をそれぞれ選択します。

ステップ 2: プログラムを最初に起動したときは、シンプルなインターフェイスと最低限のツールだけである程度の結果を得られる**簡易モード**です。



AKVIS Retoucher ワークスペース (簡易モード)

上級ユーザー用に、詳細モードも準備されています。コントロールパネルの **【詳細】** をクリックしてモードを切り替えると、インターフェイスが変わり、プログラムのすべての機能へのアクセスが可能になります。



AKVIS Retoucher ワークスペース (詳細モード)

ステップ 3 : 画像内の修復が必要な部分に印をつけていきます。傷やしみ、日付などがそれに当てはまります。フォトエディターでの設定は、AKVIS Retoucher のプラグイン版にそのまま転送されます。

注意:レタッチの処理を実行する前に、**切り取り** ツール  を使用してください。

選択を行う時に使用できる**ツール**は、**選択ブラシ** 、**除外ツール** 、**消しゴムツール** 、**塗りつぶしツール** 、**自動選択ツール**  です。

選択した範囲は赤く塗りつぶされます。



不具合箇所をハイライト

カスタマイズした設定を .retouch形式のファイルにして保存するには、 ボタンを使用します。保存した設定は、 ボタンからいつでも読み込むことができます。

ステップ 4: 詳細モードを使用の場合、選択エリアをさらに処理するためのツールとして **リニア**  と **パッチ**  も利用できます。

これらのツールの使い方に関しては、この**操作例**を参照してください。

ステップ 5: 設定パネルで、**画像修復モード**を**汎用レストア** または **小さな不具合**モードから選択します。ストローク パラメーターを調整します。

汎用レタッチ モードは様々な場面で使用できますが、比較的大きなオブジェクトを取り除く場合に特に便利です。

小さな不具合 モードは、特に、ひっかき傷、シミ (点)、ホコリ等の細かな不具合 (欠陥部分) の修正を行うよう設計されています。この革新的なアルゴリズムにより、正確で詳細な画像修復が可能になります。

必要なら、**色補正** 設定を使用して、画像の明るさやコントラストを調整します。

 をクリックし、イメージ処理を開始します。この操作に対するホットキーは、**Ctrl + R** (Macの場合は **⌘ + R**)。

満足のいく結果でない場合、選択エリアを修正し、**パラメーター**を**設定パネル**内で調整しなおした後に、再度処理を行うことができます。

処理の開始と同時に、処理後の結果が少しずつ表示されます。処理中であっても、希望通りの結果が得られないとわかった場合には、進捗バーの右にある**キャンセル**ボタンを押して処理を中止できます。中止後にパラメーターを変更し、再度  をクリックして処理を実行します。

注意: 詳細モードの**[個別に実行]**  オプションを使用すると、個々の選択エリアにより集中できます。削除  キーを押すと、すぐにツールを切り換えられます。選択エリアの1つをクリックすると、処理が開始されます。ステップごとに、また選択エリアごとに、パラメーターを調整して、各選択エリアをより効果的に修復できます。大きく、複雑な固体を取り除きたい場合に便利なオプションです。処理後の結果が十分でない場合、 /  ボタンで処理のやり直しや、不要なフラグメントの消去、選択範囲やパラメーターの変更、パッチの適用などの修正処理を行うことができます。



自動処理による結果

ステップ 6: Home Deluxe版またはBusiness版をお使いのユーザーの場合、さらに後処理ツールであるクローンスタンプ 、カメレオンブラシ 、履歴ブラシ 、修正ツール  も利用できます。



クローンスタンプを使用した後処理

Home Deluxe版と Business版 ライセンスでは、ピネット効果も利用できます。



ビネット

ステップ 7: 処理画像を共有するには、 をクリックします。画像を公開可能なサービスの一覧、Twitter、Flickr、Tumblr、Dropbox、が表示されます。

スタンドアロン版では、印刷を行うこともでき、その場合は、 をクリックします。

ステップ 8: 処理したイメージを保存します。

- スタンドアロン版の場合:



をクリックして**[名前を付けて保存]**ダイアログボックスを開き、ファイル名の入力、ファイルの種類（TIFF、BMP、JPEG、PNG）の選択、保存先フォルダーの指定を行います。

- プラグイン版の場合:

プラグイン版を利用の場合にのみ、 をクリックして結果をイメージに適用します。AKVIS Retoucher のプラグイン ウィンドウが閉じ、表示がフォトエディターのウィンドウに戻ります。

フォトエディターの**[ファイル] > [名前を付けて保存]**から開くダイアログで、ファイル名の入力、ファイルの種類を選択、保存先フォルダーの指定を行います。



結果

ツールバー

ツールバーには、イメージの選択と修復に使用する一連のツールが含まれています。ツールのパラメータは、イメージ上を右クリックして表示されるボックスと。

直線を描画する場合、クリックで始点を指定し、**Shift** キーを押しながら終点をクリックして最後に **Shift** キーを離します。**Shift** キーを離さない場合、クリックするそれぞれの位置まで新たな直線がひかれます。

ツールは、機能別に4つに分類されています。簡易モードでは、次に挙げる最初と最後の2つの機能分類のみ利用できます。

選択ツール:

選択ブラシ  は、修復を行う部分をハイライト(選択)するために使用します。選択ブラシのラインの不透明度は、**[環境設定]**ダイアログボックスで変更できます。**B** キーを押すとすぐに選択ブラシ ツールへと切り換わります。

[除外領域の維持]チェックボックスがオンの場合、除外領域内に描画しようとしても無効になります。

除外ツール  は特定の領域をそのまま維持したい場合に使用します。このツールで選択した領域は、計算に使用する領域からは除外されます。選択範囲の周辺がクローニングされないようにこのツールを使用することができます。

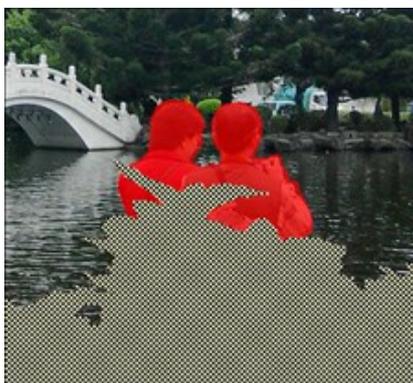
[除外領域の維持]チェックボックスがオンの場合、除外領域内に描画しようとしても無効になります。



元のイメージ



選択エリア



除外領域を選択



再現処理から除外するエリア



除外ツール不使用時の結果

除外ツール使用時の結果

消しゴムツール  は様々なラインを消します。Eキーを押すとすぐに消しゴムツールへと切り換わります。消す範囲を次の3通りから選択できます。

- すべてのライン。
- 選択領域のラインのみ。
- 除外領域のラインのみ。

塗りつぶしツール  は、**選択ブラシ**  で囲まれた部分を塗りつぶします(広範囲を選択している場合に便利)。

自動選択ツール  では、同じ色のピクセルをすべて選択できます。【トランス】の値が高いほど、選択範囲に多くの色が含まれることになります。

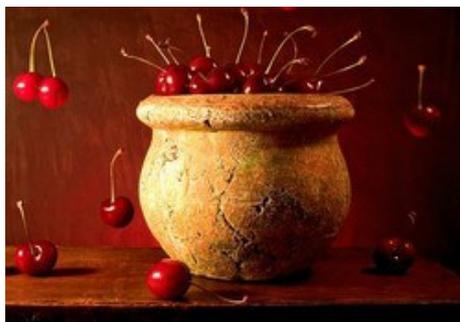
【連続モード】チェックボックスがオンの場合、隣り合う同じ色のピクセルのみが選択されます。チェックボックスがオフの場合、画像全体の中から同じ色のピクセルが選択されます。このツールは、1つの色のものやテキストを選択する場合に便利です。

手動処理用ツール:

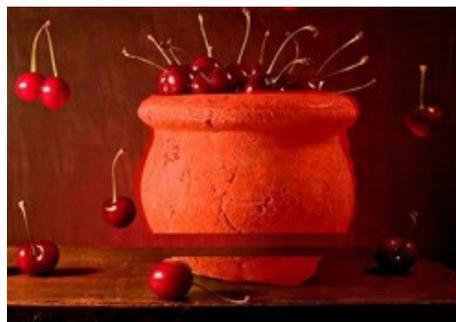
リニア ツール  により、背景を特定の方向に修復できます。例えば、つなぎ目部分をそろえたり、エッジ部分を滑らかにしたりできます。ラインはできるだけ長く、可能なら赤く塗りつぶされた部分を突き抜けるほどの長さで描画してください。

パラメータ:

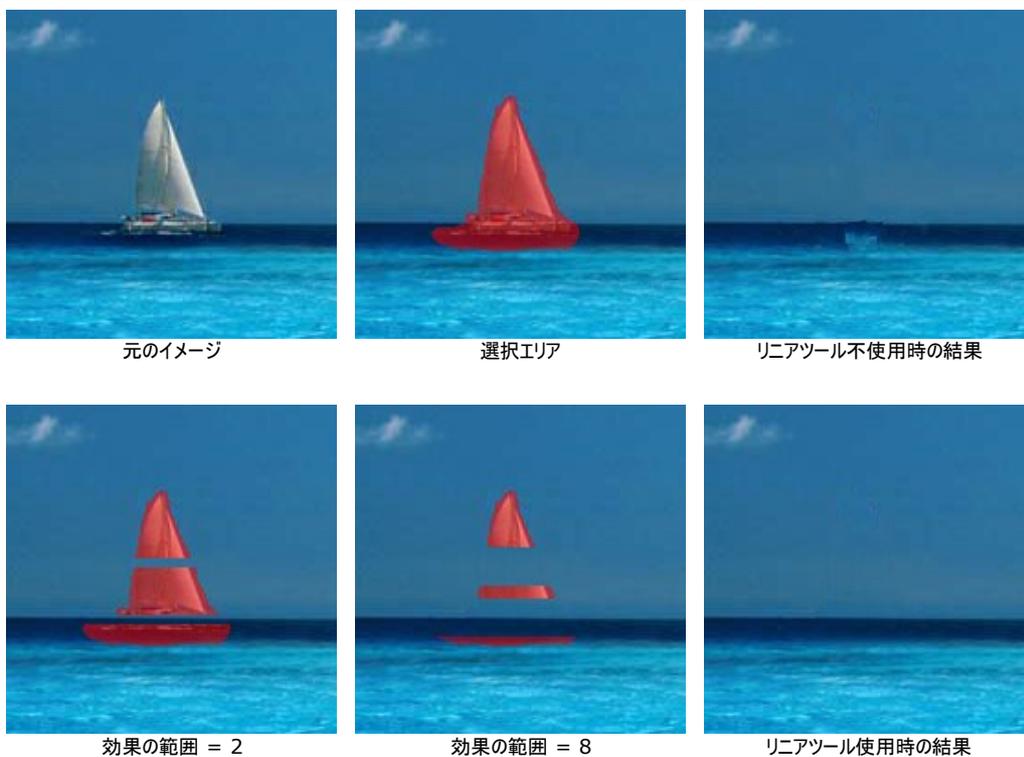
グラデーション:このチェックボックスが有効な場合、ラインの始点と終点の間でむらなく、画像内の滑らかな遷移を実現します。希望する処理結果ではない場合は、チェックボックスをオフにします。



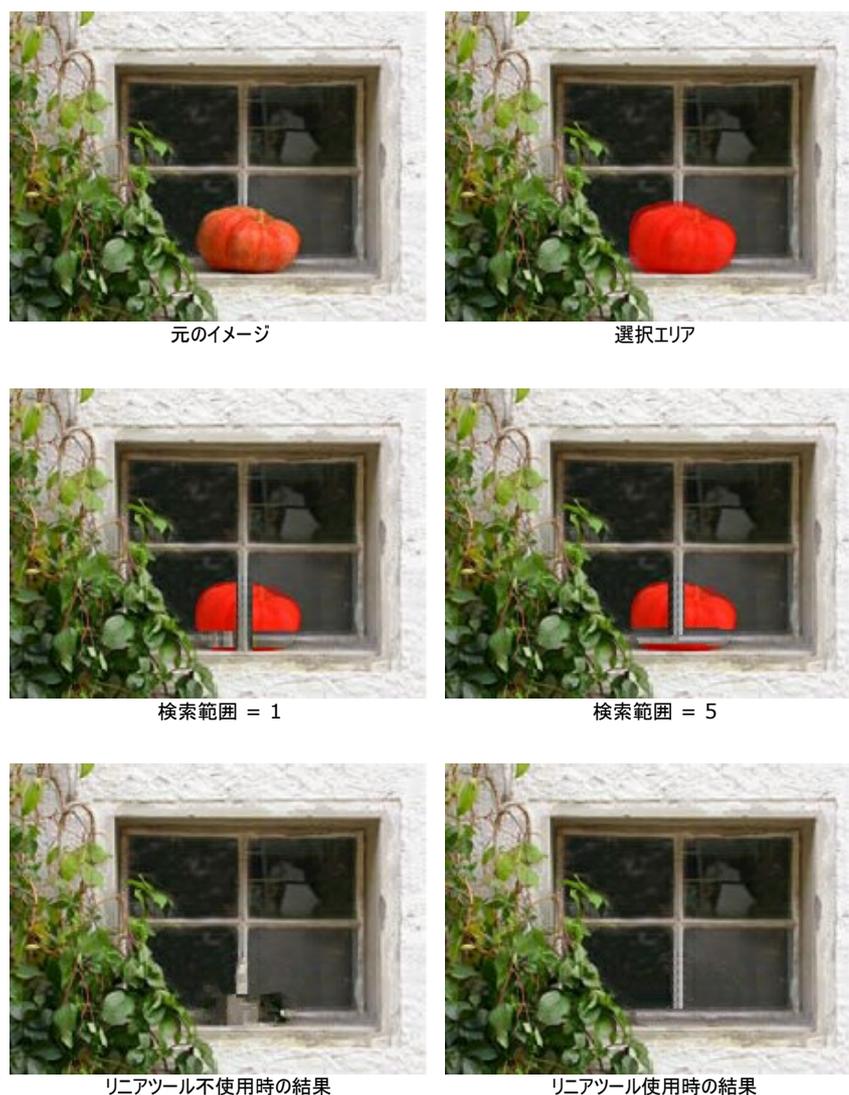
元のイメージ

リニア
(滑らかな遷移)左から右への修復
(【グラデーション】
チェックボックスがオフ)右から左への修復
(【グラデーション】
チェックボックスがオフ)

効果の範囲: 修復を行う範囲(領域の幅)を設定するためのパラメータです。値が高いほど、修復される範囲は広くなります。



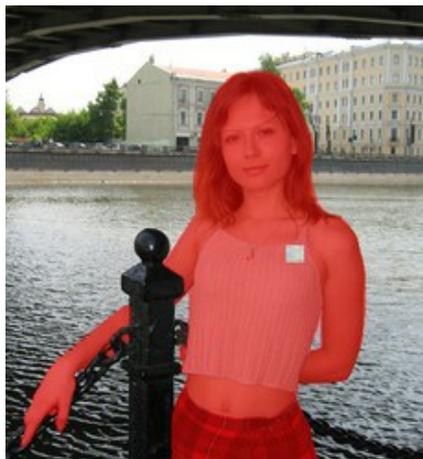
【検索範囲】は、ラインに沿って修復するさいに使用するサンプルをどの範囲で検索するかを設定します。値が高いほど処理にかかる時間は増し、不要なフラグメントまでもキャプチャする可能性が高くなります。



修正ツール  は、画像の他の部分から四角のフラグメントをコピーし、修復を行います。パッチを適用するには、コピーする部分にカーソルを合わせ、左クリックしたまま修復を行う赤く塗りつぶされた部分にドラッグします。

パラメータ:

【サイズ】はサンプルとして採取するパッチのサイズを設定します。



パッチのサイズ = 15



パッチのサイズ = 50

【左右に反転】 チェックボックスをオンにすると、クローンが対称軸を中心に反転します(例えば、左右を入れ替えることができます)。

【上下に反転】 チェックボックスをオンにすると、クローンの上下を逆さにします。

【個別に実行】  は選択した範囲を個別に実行する場合に使用します。選択範囲をクリックすると処理を開始します。それぞれの選択エリアに注目してパラメータを調整し、各選択エリアをより効果的に修復できます。 キーを押すとすぐに[個別に実行]ツールへと切り換わります。

後処理ツール([Home Deluxe版](#)と[Business版](#)でのみ利用可能)

修正ツール  は、画像内のシミやチリなどの小さな欠陥部分をすべて取り除きます。さらに、肌のトラブル(にきびなど)の改善にも使用できます。修正する部分にマウスをあわせ、クリックするだけです。このツールへのクイックアクセスには、 クリックします。

パラメータ:

範囲: ブラシで引くラインの幅をピクセルで指定します。

丸筆: チェックボックスをオンにするとブラシは楕円形、オフにすると長方形になります。



元のイメージの一部



処理結果

履歴ブラシ  は、あるツールを適用したイメージの一部を適用前の状態に戻します。

パラメータ:

範囲: ブラシで引くラインの幅をピクセルで指定します。

硬さ: ブラシのエッジ(境界部分)によるぼかしの程度を指定します。値が高いほどブラシのエッジが硬くなり、ぼかしも弱くなります。100%に近い値の場合、ブラシのエッジと背景の境界がくっきり分かりますが、もっと低い値の場合は境界部分の色の移行がよりスムーズになり、ぼかしが強くなります。

強度: オリジナルの状態へのレストアの度合いを指定します。低い値の場合は適用した効果とのブレンドが残りますが、100%に近い値の場合はオリジナルの状態に完全にレストアされます。



レタッチ



履歴ブラシ

スタンプツール  は、イメージの一部を別の位置に複製できます。その際に、複製の元となる部分の色、影、テクスチャ、イルミネーションなどの特長を維持したままの複製を可能にします。**S** キーを押すとすぐにクローンスタンプ ツールへと切り換わります。

クローンのサンプルとなる部分で **Alt** キー (Mac の場合は **Option** キー) を押しながらかlickすると、クローンのサンプルを取得できます。

複製した部分を取り除く場合は、**Ctrl** キー (Mac では **⌘** キー) を押したまま、マウスでドラッグします。

パラメータ:

ブラシサイズ やクローニング方法 (**[揃える]** チェックボックスのオン/オフ) を変更することができます。



スタンプツール では、さらに **[硬さ]** パラメータ (フラグメントのエッジ部分のぼかし具合) の調整と左右/上下にクローンを反転させることもできます。**形状**: 基本となる要素の形状 (圧縮) を指定します。値が 1 の場合は平らな棒線、値が 100 の場合は丸、その間の値では楕円になります。形状の値が低いほど、**角度** パラメーターで指定した方向につぶれた楕円になります。

角度: 基本となる要素の角度を指定します。

丸筆: チェックボックスをオンにするとブラシは楕円形、オフにすると長方形になります。

不透明度: 背景との関連での複製イメージの透過度を指定します。この値により、複製された位置での透過度が決まります。低い値では、複製イメージはより淡く、背景によりなじんでいます。

[左右に反転] チェックボックスをオンにすると、クローンが対称軸を中心に反転します (例えば、左右を入れ替えることができます)。

[上下に反転] チェックボックスをオンにすると、クローンの上下を逆さにします。



左右に反転、上下に反転

スケール: 元のフラグメントに対するクローンのサイズを指定します。

カメレオンブラシ  は、イメージのある部分の色、トーン、テクスチャ、明るさや他の背景特性をそのまま別の部分に複製できます。スタンプツールとは異なり、イメージのテクスチャを維持したまま新たにイメージを複製します。[H] キーを押すとすぐにカメレオンブラシ ツールへと切り換わります。

パラメータ:

ブラシサイズやクローニング方法([揃える]チェックボックスのオン/オフ)を変更することができます。**形状:** 基本となる要素の形状(圧縮)を指定します。値が 1 の場合は平らな棒線、値が 100 の場合は丸、その間の値では楕円になります。形状の値が低いほど、**角度**パラメーターで指定した方向につぶれた楕円になります。

角度: 基本となる要素の角度を指定します。

丸筆: チェックボックスをオンにするとブラシは楕円形、オフにすると長方形になります。

[左右に反転]チェックボックスをオンにすると、クローンが対称軸を中心に反転します(例えば、左右を入れ替えることができます)。

[上下に反転]チェックボックスをオンにすると、クローンの上下を逆さにします。

スケール: 元のフラグメントに対するクローンのサイズを指定します。

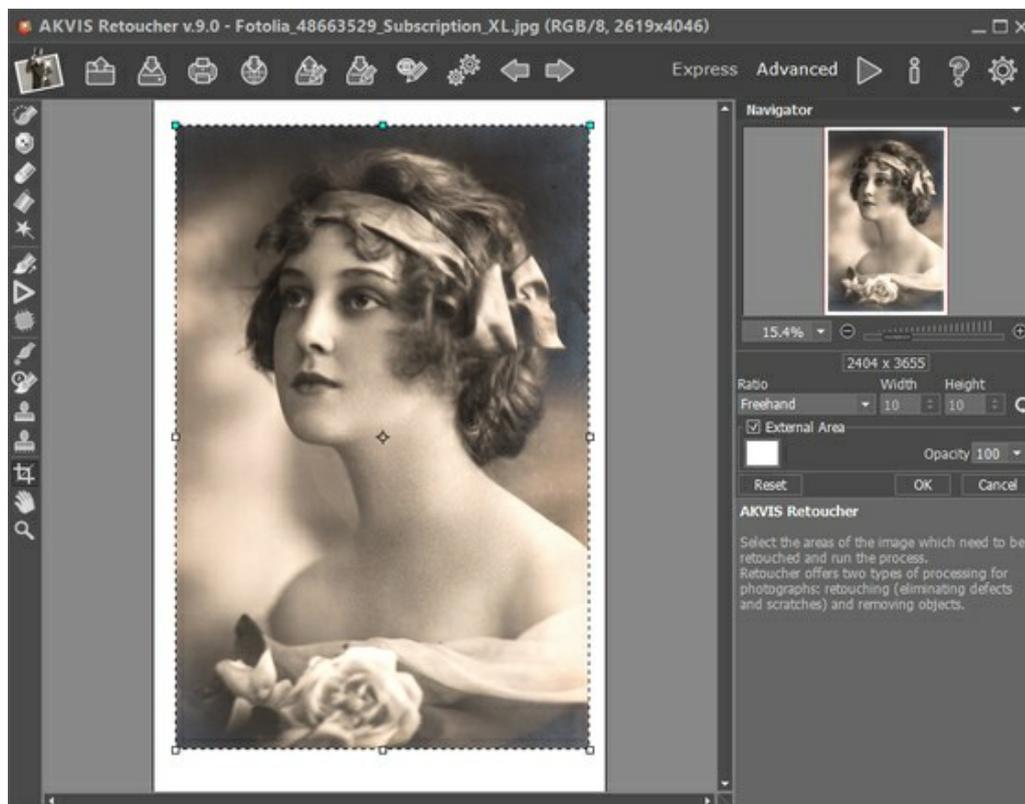
その他のツール:

切り取りツール  (スタンドアロン版のみ) を使って、イメージ内の不要な部分を切り取ることができます。このツールは、イメージの構成を変更したい場合、曲がった写真を修整したり、縦長の写真を横長にしたり、その逆を行ったりするのに便利なツールです。

注意! 実際の処理を実行する前に、画像の切り取りを行うことをお勧めします。

切り取りは、フレームの枠や角をドラッグして行うことができます。

結果を適用して、フレーム外の部分を切り取るには、**[OK]** をクリックするか、**Enter** キーを使用します。操作をキャンセルして終了するには、**[キャンセル]** をクリックするか、**Esc** キーを使用します。ツールを有効にしたまま、元の状態に戻すには、**[リセット]** ボタンを押します。



イメージの切り取り

切り取りオプションを調整します。

切り取り枠の大きさは、**[比率]** ドロップダウン リストから選択するか、ユーザー定義で比率を指定します。

[外部領域] チェックボックスがオフの場合、外側の部分の色と不透明度を変更できます。

 ボタンをクリックすると、**手のひら** ツールが有効になり、画像を動かして**イメージウィンドウ**に表示されていない部分を表示できます。実際にツールを使用するには、画像上で左クリックしたままドラッグして表示画像を動かします。

 **ズーム** ツールを有効にし、イメージの表示サイズを変更します。クリックすると、ズームイン(拡大)します。

Alt キーを押しながらクリックすると、ズームアウト(縮小)します。**Z** キーを押すとキーを押すと、クリックなしで、ズームツールに切り換えられます。

パラメータ

AKVIS Retoucherは周辺情報(以下「サンプル」)を基にして足りない部分などの再現を行います。

AKVIS Retoucherでは、傷や不具合などを消去する修復処理と画像内の物を消去するという2種類の画像処理ができます。修復はほとんどが自動処理によって行われるのに対して、画像内のものを消去する場合は一部手動で行うため、リニアとパッチのそれぞれのツールの使い方を知する必要があります。

選択したツールのパラメータは**設定パネル**で設定できます。

汎用レタッチ:

[サンプルのサイズ]はサンプルを採取するサイズを設定します(0~16)。パラメータの値が高いほど、背景をのより広い範囲をサンプルとして使用しますが、イメージの詳細部分は粗くなります。



元のイメージ

サンプルのサイズ = 3

サンプルのサイズ = 14

[サンプルの数]は周囲から採取し、再現に使用するサンプルの数を設定します(1~50)。ランダムに選ばれます。パラメータの値が高いほど、背景のテクスチャをより多くサンプルとして使用しますが、処理にかかる時間は長くなります。



元のイメージ

選択エリア



サンプルの数 = 1



サンプルの数 = 50

【検索範囲】は再現に使用するサンプルをどの範囲で検索するかを設定します(16~250)。値が高いほど、再現処理に多くの時間がかかります。範囲が広すぎる場合に、遠く離れた部分がサンプルとして採取されることがあり、そのようなサンプルは再現には適していません。



元のイメージ



選択エリア



検索範囲 = 30

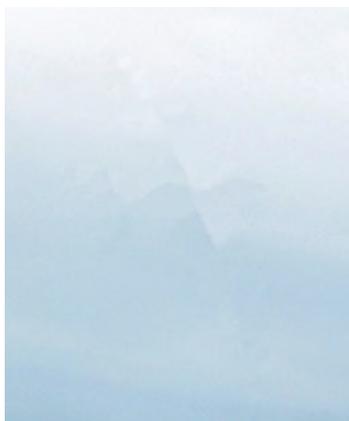


検索範囲 = 220

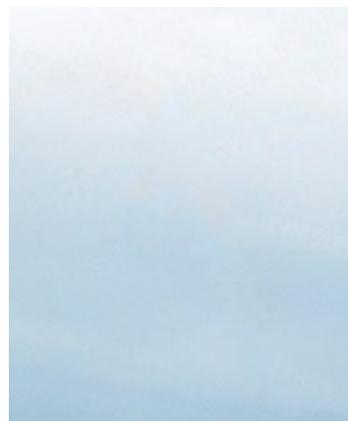
【スムージング】チェックボックス: サンプル同士の境目を滑らかにし、自然な遷移を作り出します。サンプルのテクスチャが似ていても色が異なる場合などは非常に便利です。チェックボックスがオフの場合は、調整は行われません。



選択範囲を赤く塗りつぶした元のイメージ



【スムージング】チェックボックスがオフ



【スムージング】チェックボックスがオン

【高速処理】チェックボックス: チェックボックスがオンの場合、もとのイメージを簡略化することにより、処理速度があがります。多くの場合に有効なオプションで、かつ良い結果が短時間で得られます。



元のイメージ



選択エリア



通常処理による結果



高速処理による結果



選択範囲を赤く塗りつぶした元のイメージ



通常処理による結果



高速処理による結果

小さな不具合:

検索範囲 (10-70) レストアに使用するフラグメントの範囲を指定します。値が高いほど、処理に時間がかかります。



選択範囲を赤く塗りつぶした元のイメージ



検索範囲 = 10



検索範囲 = 50

範囲の比較 (0-20) ポイントの比較に使用する範囲のサイズの指定を行うためのパラメーターです。



選択範囲を赤く塗りつぶした元のイメージ



範囲の比較 = 0



範囲の比較 = 17

差異 (1-25) このパラメーターは、ポイント間の差異として許容可能な範囲の最大(限界)を指定します。



選択範囲を赤く塗りつぶした元のイメージ



差異 = 1



差異 = 25

修正

[修正] タブのパラメータは、さらに幾つかのイメージ処理方法を提供します。

[明るさ]: 設定可能な値は-100~100です。イメージの明るさを設定します。高い値ではイメージは明るく、低い値ではイメージが暗くなります。



明るさ = -50



明るさ = 50

[コントラスト]: 設定可能な値は-100~100です。イメージの明るい部分と暗い部分の差を大きくしたり(値が1以上の場合)、小さくします(値が0未満の場合)。



コントラスト = -100



コントラスト = 100

[彩度]: 設定可能な値は-100~100です。色の強度を、無彩色のグレーからイメージ内の最も明るい色に変更します。



彩度 = -100



彩度 = 50

[セピア]チェックボックス: チェックボックスをオンにすると、古い写真のような茶色がかった効果が適用されます。



セピア

ピネット

ピネット効果は、写真のエッジ部分の明暗を変更し、写真の中心部分に注目させることができます。レトロ風な画像、特に年代物の人物画にはピッタリです。この効果を使用することで、雰囲気を変えたり、写真の構図を変えたりできます。ピネットは、AKVIS Retoucher で非常に簡単に実行できます。

注意:[ピネット]オプションは、Home Deluxe版と Business版のみで利用できる機能です。



次のパラメーターを調整します。

Color



暗いエッジ



明るいエッジ

サイズ (設定可能範囲は 1-100): 効果の領域を変更するパラメーターです。



サイズ = 50



サイズ = 85

形 (設定可能範囲は -100 から100): このパラメーターを使ってピネットの角をどの程度丸くするかにより、表示される写真の部分が長方形(0以下の値の場合)または円形(0以上の値)になるかを設定できます。



形 = -50



形 = 50

滑らかなトランジション (設定可能範囲は 0-100): このパラメーターは、ピネットと中心部分の境界を滑らかに調整します。値を高くする程、フェード効果が高くなります。



滑らかなトランジション = 0



滑らかなトランジション = 20

位置: 白いマーカーを移動すると、ピネットの位置を変えることができます。中心の座標が、X と Y の各フィールドに表示されます。

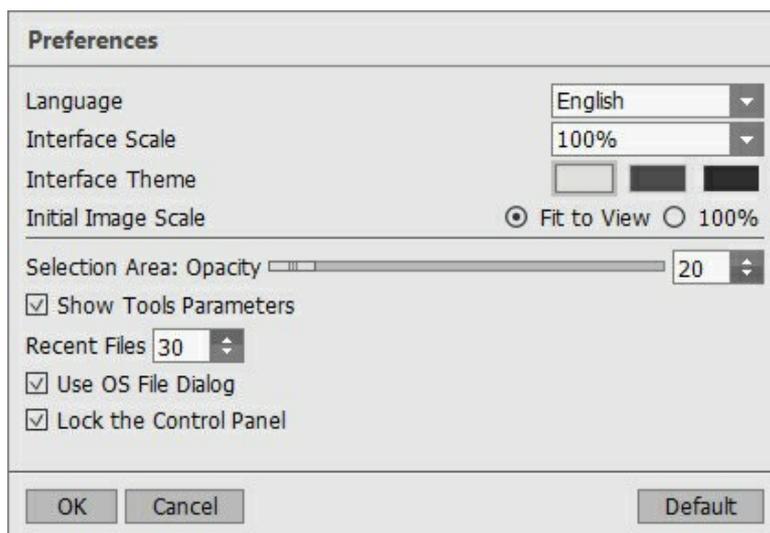


ビネットの移動

環境設定



[環境設定]ダイアログボックスを開きます。**[環境設定]**ダイアログボックスは次のように構成されています。



- **言語**: ドロップダウンメニューからインターフェイスに使用する言語を選択して変更します。
- **インターフェイスの拡大/縮小**: インターフェイス要素のサイズを選択します。**自動**に設定されている場合、ワークスペースは、自動的に画面の解像度に合わせて拡大/縮小されます。
- **インターフェイステーマ**: インターフェイスのテーマを選択します。**明るい**、**グレー** または **暗い**の3種類のテーマがあります。
- **初期の比率**: 新たな画像を開いた場合に、画像を表示する比率を指定します。このパラメータは2つの値のいずれかを設定します。
 - **[画面に合わせる]**: **イメージウィンドウ**に全体が表示されるように、拡大/縮小が調整されます。
 - **[100%]**: 画像の拡大/縮小は行われなため、**イメージウィンドウ**に写真全体は表示されません。
- **選択エリア**: **[不透明度]**スライダーでは、選択したエリアの塗りつぶし部分の不透明度を設定できます。
- **最近使ったファイル** (スタンドアロン版のみ): 最近使ったファイルの表示数を指定します。最近使ったファイルの一覧は、最も最近使ったファイルが一番上に来るよう順番に表示されます。この一覧は、 を右クリックすると表示されます。設定可能な最大ファイル数は、30ファイルです。
- **OS指定のダイアログボックスを使用**チェックボックス (スタンドアロン版のみ): オンにすると、システム指定のダイアログボックス(開く/保存)を使用できます。デフォルトではAKVIS File Dialogに設定されています。
- **[コントロールパネルを常に表示]**チェックボックス: トップパネルの表示/非表示の切り替えができなくなります。つまり、このチェックボックスが有効な場合、パネルは常に表示されます。パネルの固定を解除するには、このチェックボックスをオフにします。オフにすると、パネル中央の三角をクリックしてパネルの表示/非表示を切り替えられます。三角にマウスオーバーすると、最小化されたパネルが表示されます。

[環境設定]ウィンドウでの変更内容を適用するには、**[OK]**をクリックします。

既定値に戻す場合は、**[既定値]**ボタンをクリックします。

バッチ処理

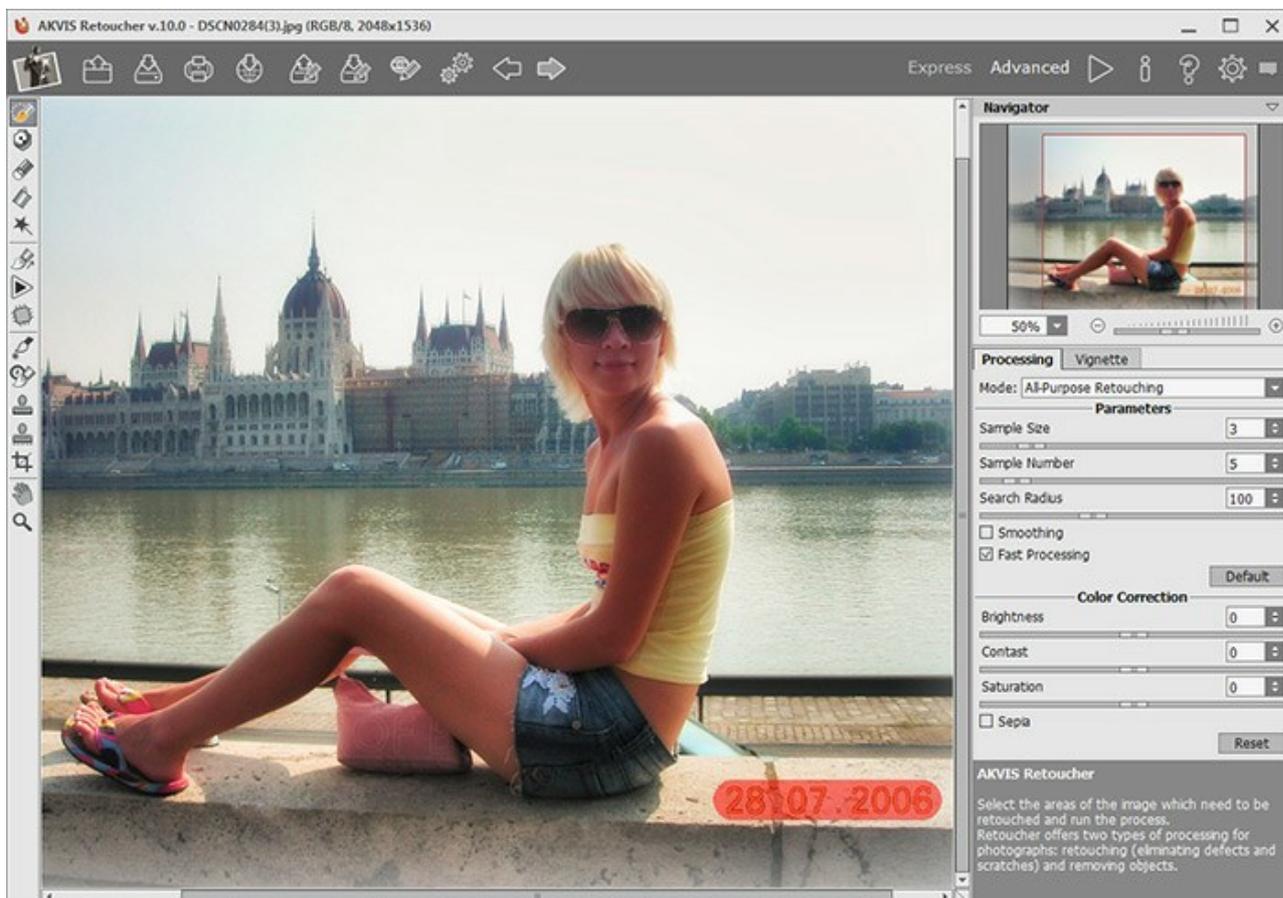
AKVIS Retoucher はバッチ処理をサポートしており、一連のイメージを自動的に変換できます。

バッチ処理は、同じ環境かつ同じカメラ設定で撮影した一連の写真の処理やビデオの作成に便利です(すべてのフレームを自動処理)。作業時間と労力の節約に大いに役立ちます。

ステップ 1: AKVIS Retoucherの選択ツールを使って、修復が必要な箇所にマークを付けます。マークが付いている選択フォルダ内のすべての画像がレタッチされます。



選択範囲を別の.retouch形式のファイルに保存します。



ステップ 2: 開いた写真のパラメータを調節します。この同じ設定をすべての写真にも適用する。

ステップ 3: コントロールパネルの  をクリックすると、【バッチ処理】ダイアログボックスが開きます。

Batch Processing	
Source Folder	E:/Pictures/Retoucher/Source Files
Target Folder	E:/Pictures/Retoucher/Result Files
<input checked="" type="checkbox"/> Include Subfolders	
Selection	E:/Pictures/Retoucher/date.retouch
Save As	JPEG, High Quality
File Name	Source Name
<input type="button" value="Start"/> <input type="button" value="Cancel"/>	

ソースフォルダ フィールドには、処理を行う写真が保存されているフォルダを選択します。

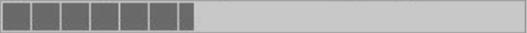
ターゲットフォルダフィールドには、処理済みの写真を保存するフォルダを選択します。

【すべてのサブフォルダを含む】 チェックボックスをオンにすると、選択したフォルダ内のサブフォルダに含まれている写真もすべて処理されます(構造を維持したまま)。

次に、.retouchを選択し、【名前をつけて保存】リスト内のファイルの保存形式や画像の品質を選択します。

ステップ 4: 写真のバッチ処理は、【開始】をクリックします。

AKVIS Retoucher v.10.0

 Processing 9 of 17 Time remain: 2 min 12 sec
E:/Pictures/Retoucher/Source Files/IMG_0076.JPG


印刷

AKVIS Retoucher のスタンドアロン版では、イメージを印刷することもできます。を押すと【印刷】オプションが表示されます。



AKVIS Retoucher での印刷オプション

設定パネルのパラメーターを調整します。

リストからプリンターを選択し、希望の解像度と部数を指定します。

【印刷の向き】では、紙の方向を設定します。【縦】または【横】から選択します。

【ページ設定】をクリックして表示されるダイアログボックスでは、用紙サイズ、印刷の向き、余白などの設定を行うことができます。

【余白のリセット】をクリックすると、ページのマージンをデフォルトの設定値に戻すことができます。

イメージの印刷サイズを変更するには、【比率】、【幅】、【高さ】、【ページに合わせる】等のパラメーターを調整します。これらは印刷にのみ影響するものであり、イメージ自体には影響しません。印刷するイメージのサイズ変更を行うには、【比率】に値を直接入力するか、【幅】と【高さ】に値を入力します。

イメージサイズを用紙に合わせる場合は、【ページに合わせる】チェックボックスをオンにします。

ページ上のイメージをマウスで動かしたり、矢印キーを使って揃えたりできます。

【枠】を有効にし、枠の幅や色を指定できます。

色パレットをクリックして、【背景色】を変更できます。

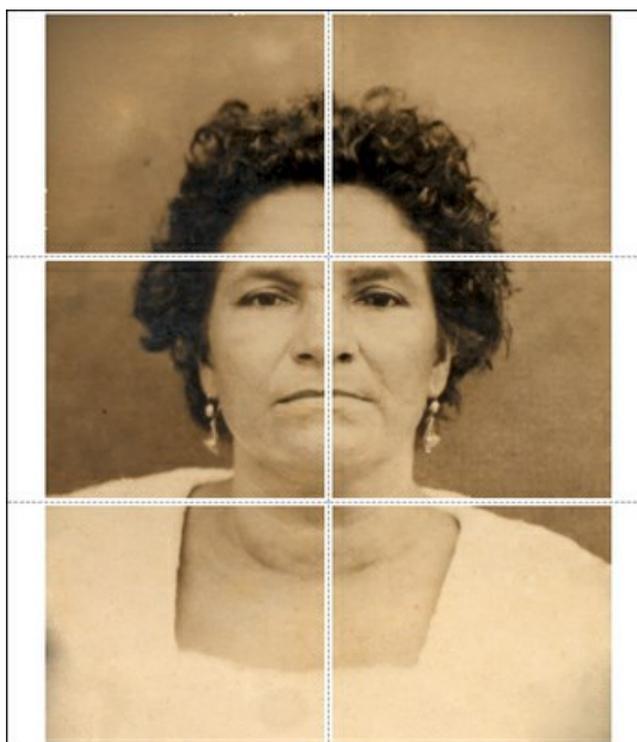
【ページ】タブでは、1枚にイメージを複数印刷するための設定を行うことができます。



ページの印刷

- **【割り付け】**: 1ページに画像を何枚印刷するかを指定します。
- **【水平方向】**と**【垂直方向】**: これらの数は、それぞれイメージの行と列の数を意味します。
- **【間隔】**: イメージ同士の間隔を指定します。

【ポスター】タブでは、大きな画像を複数のページに分け、それぞれの結合部分とともに印刷することができます。



ポスター印刷

- **【ページ】**: チェックボックスがオンの場合、イメージを何枚に分けて印刷するかを指定できます。この設定に応じて、イメージの拡大率が調整されます。チェックボックスがオフの場合、プログラムが実際のサイズに応じて、自動的に最適枚数を選択してくれます。
- **【のりしろ】**: チェックボックスがオンの場合、ページの結合部分ののりしろの幅を指定できます。のりしろはページの右側と下部に追加されます。
- **【切り取り線】**: チェックボックスがオンの場合、余白に切り取り線を表示させることができます。
- **【ページ番号の表示】**: チェックボックスがオンの場合、行と列の番号が余白部分に表示されます。

指定したパラメーターでイメージを印刷するには、**【印刷】**ボタンをクリックします。
変更をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

【プロパティ...】ボタンをクリックすると、システム ダイアログボックスが表示され、詳細な設定を行ったり、印刷を行ったりできます。

ダゲレオタイプの修復

この写真はOleg Rakhimov によって提供されたもので、1893年に彼の親戚をダゲレオタイプで撮影したものです。



ステップ1: AKVIS Retoucherで画像を開きます。このダゲレオタイプは、長い年がたっているにもかかわらず、保存状態が非常によいため、傷を消して、角を作ってあげれば修復は比較的簡単にできるでしょう。



ステップ2: 修復を行うにあたり、まず不具合部分をすべて選択する必要があります。小さな傷も見逃さないために、画像を拡大し、**選択ブラシ**  を使って選択します。画像内の傷や欠損部分を徐々に塗りつぶしていきます。



ステップ3: 修復処理を実行するには、▶ をクリックします。クリックすると、赤く塗りつぶされていた部分は不具合が修復されてなくなります。

修復処理が完了した画像は、このようになります。



檻の中の雌ライオン: 鉄格子を除去

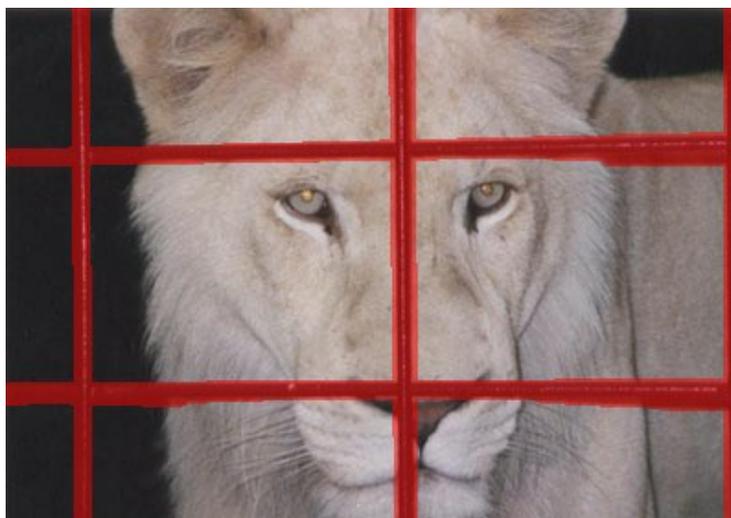
AKVIS Retoucher は画像の修復に効果的なツールです。古くて傷んでしまった写真の修復、日付の消去、撮影時にレンズを覆ってしまった指など写真を台無しにしてしまう不要部分を取り除くことができます。



このチュートリアルでは後者の場合の操作方法を紹介します。以下の写真から、AKVISのツールを使って鉄格子を取り除きます。



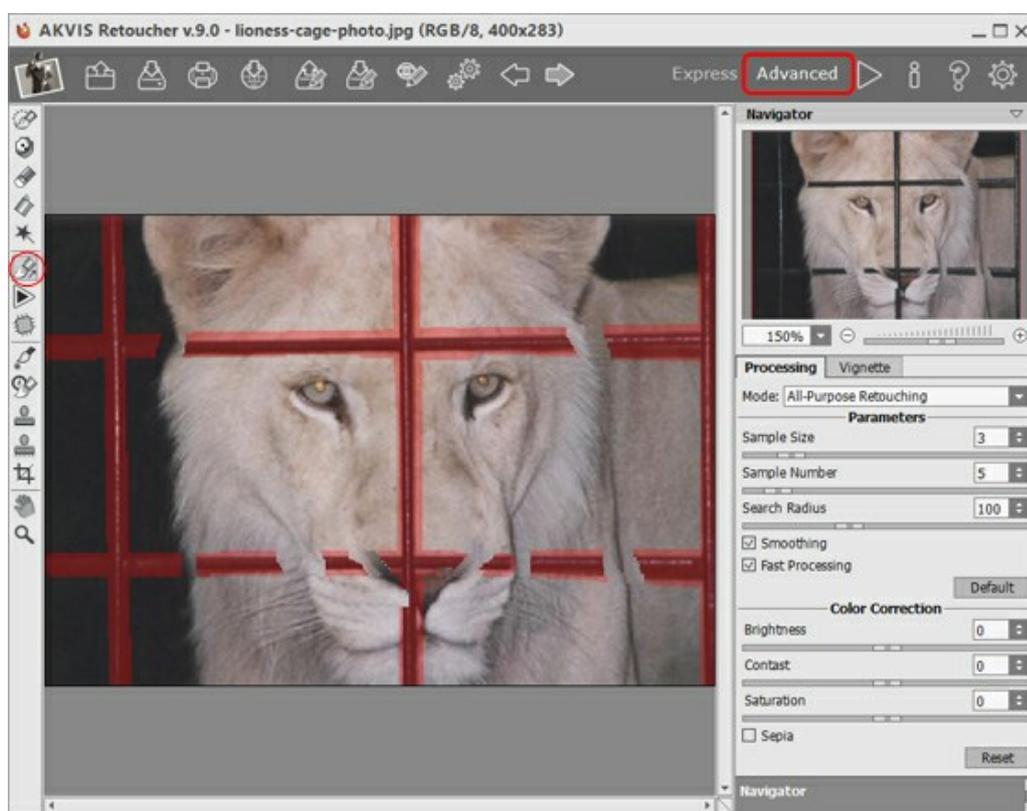
ステップ 1: AKVIS Retoucherで画像を開きます。**選択ブラシ**  を使って、取り除く鉄格子の部分を選択します。影の部分の選択も忘れずに行ってください。



ステップ 2: 修復処理を  のクリックで開始すると、鉄格子を含む赤く選択された部分が消えて、このようになります。



ステップ 3: 画像下のつなぎ目部分が少し不自然なので、画像をより正確に処理する必要があります。そのため、 をクリックして先ほどの操作を取り消します。**詳細** モードに切り替え、**リニア**  ツールを選択してください。つなぎ目のラインを修復したい部分にいくつかのストロークを描きます。



 をクリックしてイメージの処理を実行します。



ステップ 4: 処理結果は、希望通りのものにはなっていません。**Retoucher** は、鉄格子によってほとんどが隠れていた鼻の部分の修復に失敗しました。不自

然な毛並みは **スタンプツール**  ツールを使って修正できます。

スタンプツールは、画像の他の部分を複製して不具合部分を修復します。複製箇所のサンプル取得は、適切な場所で **Alt** キー (Macの場合は **Option** キー) を押しながらかlickして行います。複製箇所のサンプルを適用するには、修復する部分にカーソルを合わせてclickします。

処理後の画像は以下ようになります。鉄格子の檻がなくなり、雌ライオンは自由になり、どこか嬉しそうにも見えませんか。



古い家族写真の修復

スキャンされた古い写真とAKVIS Retoucherの修復結果とを比べてみてください。



この古い写真はかなり傷んでいます。ここでは、2段階に分けて、この写真を修復してみましょう。第1段階では、AKVIS Retoucherの自動処理により、細かな傷は除去し、大きな傷は目立たなくなるように処理します。第2段階では、後処理の画像編集ツールを使用して、残りの傷を修復します。



ステップ 1: 不具合箇所の選択。

まず最初に、AKVIS Retoucherの**選択ブラシ**  で、細かな傷と赤ちゃんの肩に書かれた落書きをすべて塗りつぶす必要があります。

このとき、母親と赤ちゃんの顔にまたがってついた折れ目は塗りつぶしません。この折れ目は手作業で修復したほうが安全です。



ステップ 2: 自動修復。

 をクリックし、画像修復処理を開始します。AKVIS Retoucherは周辺情報を基にして選択部分の再現を行います。

AKVIS Retoucherによる修復処理完了後の写真は、以下のようになります。



ステップ 3: 修復ツール。

ここからは第2段階になりますが、小さな不具合を**後処理ツール**である**クローンスタンプ**  と**カメレオンブラシ**  を使って修整します。クローンスタンプとカメレオンブラシはHome Deluxe版とBusiness版でのみ利用できます。

Home Deluxe版とBusiness版の代わりに、上記の機能やその他便利なツールを持つ**AliveColors** を使うこともできます。



元となっている画像は、School of Art, Design and Art History のWebサイト(art.sdsu.edu) からとられています。

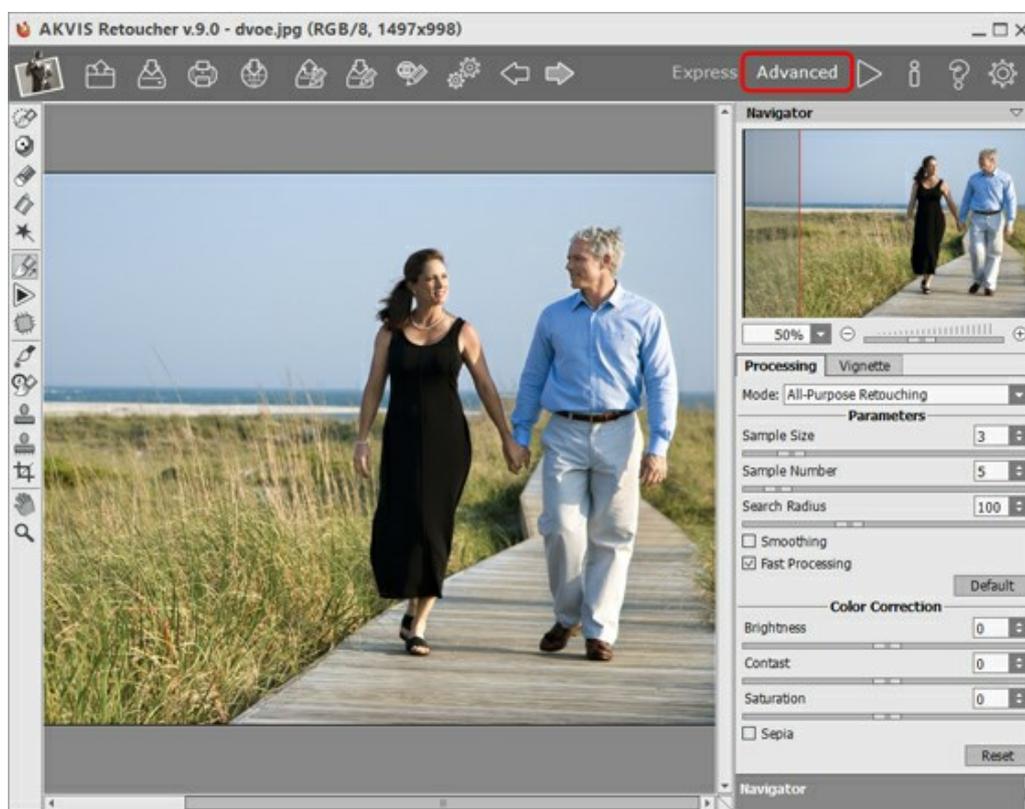
画像内の大きなものを消去

AKVIS Retoucherでは、傷や不具合などを消去する修復処理と画像内の物を消去するという2種類の画像処理ができます。それぞれの処理で必要となる操作の手順は異なります。修復はほとんどが自動処理によって行われるのに対して、画像内のものを消去する場合は一部手動で行うため、リニア  とパッチ  のそれぞれのツールの使い方を知する必要があります。



画像内の大きなものの消去に関する一般的な提案を紹介します。作業中のどの段階であっても、 /  ボタンで元に戻すことができ、調整を行った後に再度処理を実行できます。

ステップ 1: AKVIS Retoucherで画像を開き、**詳細** モードに切り替えます。



AKVIS Retoucherのワークスペース

ステップ 2: 消去したい部分を影や反射も含めて選択します。



消去部分の選択

ステップ 3: 背景が大きく変わる境界線部分を修復するために **リニアツール**  を使います。リニア ツールにより、背景を特定の方向に修復できます。例えば、つなぎ目部分をそろえたり、エッジ部分を滑らかにしたりできます。さらに、大きな消去部分を消去しやすいように分割する場合にも使えるツールです。



ラインの描画

ラインはで切るだけ長く、可能なら赤く塗りつぶされた部分を突き抜けるほどの長さで描画してください。ラインを描画するとすぐに、周辺のフラグメントが修復されます。



リニア ツールを使った修復結果

ステップ 4: パッチツール  を使って、背景を修復するのに最適な部分をサンプルとして取得し、赤く塗りつぶした部分を修復していきます。



パッチ用フラグメントの選択



赤い塗りつぶし部分にパッチを配置



結果

草むらのような不均一な部分には、より多くのパッチを配置するなら良い結果が得られます。空などの均質な部分にはパッチが少なくても問題ないでしょう。



パッチの配置

はっきりとした縞模様のある遊歩道に関しては、リニアツール  を使用したほうがよいでしょう。



遊歩道にリニア ツールを使った修復

ラインの周辺は、このように処理されます。



リニア ツールの適用後

ステップ 5: すべてのパッチをつなげて同一のフラグメントに分けるためにもリニアツール  を使います。フラグメントの間に小さなラインを描くことができます。



フラグメントの分割

ステップ 6: 各フラグメントごとに修復を行う場合は、**[個別に実行]**  を使用し、外側から処理を実行します。フラグメントをクリックすると処理を開始しま

す。各選択に関するパラメータを設定パネルで設定できます。

フラグメントごとに処理を実行する利点：通常の処理(▶ ボタンで実行) を実行して起用する場合、すべてのフラグメントが同時に処理されます。処理時間は長く、サンプルも選択範囲の近辺からとられるため、選択範囲全体を適切に修復することができない場合もあります。そのため、この処理方法による結果は少し荒くなる傾向があります。

[個別に実行]ツールでは、サンプルを元々の背景からだけでなく、新たに修復した部分からも取得するため、背景を徐々にまた正確に修復できます。1つ1つの選択範囲ごとに各フラグメントを処理できます。そのため、全体の結果は各選択範囲の処理を実行する順番が大きく関係します。



選択範囲ごとに処理

フラグメントの処理結果が希望通りではない場合、◀ ボタンをクリックして設定しなおすかパッチを追加します。背景にできたパッチが見つからない場合は、すでに修復した部分から選択することもできます。



パッチの追加

すべての部分の処理を個別に実行し終わると、このようになります。



[個別に実行]の処理後

ステップ 7: 画像の後処理を実行して、つなぎ目など修復部分の不具合を取り除きます。スタンプツール  とカメレオンブラシ  (Home Deluxe版とBusiness版でのみ利用可能)を使えば簡単にできます。

これらのツールができない場合、ステップ6終了時に残っている不具合をすべて選択し、再度処理を実行してください。

不具合はすべて画像から取り除かれました。



修復結果

ステップ 8: 処理したイメージを保存します。

AKVISプログラム

AKVIS AirBrush — エアブラシを使ったぼかし処理を手軽に適用

(Windows | Mac)

AKVIS AirBrush は、写真をスプレー塗料またはインキをスプレーする特殊なエアブラシツールで作られたように見える芸術作品に自動的に変換します。ソフトウェアは、選択した写真から絵画への変換設定を使用して、画像からスタイリッシュでカラフルなエアブラシデザインを作成する芸術的なフィルタとして動作します。 [詳細情報](#)



AKVIS ArtSuite — 写真をオリジナルで華やかに飾ります!

(Windows | Mac)

AKVIS ArtSuite は、写真を飾るための印象的かつ多用途な効果を集めたものです。写真をオリジナルで華やかに飾ります! 友人へ送るポストカードの作成、旅の思い出アルバムの作成、デスクトップ用の壁紙、または、アート感覚で楽しむためなど、さまざまな場合で必要になるでしょう。本ソフトウェアには、19 以上の基本的な効果が用意されており、効果版を無制限に作成することができます。 [詳細情報](#)



AKVIS ArtWork — 写真から絵画を作成しましょう！

(Windows | Mac)

AKVIS ArtWorkは、様々なペイントテクニックを模倣できるよう設計されています。プログラムは、8種類のペインティングスタイルを提供しています：油絵、技法、グアッシュ、コミック、ペン & インク、リノカット、パステル、点描。簡単にデジタル写真から名作を作り出すことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Chameleon — フォトコラージュ作成

(Windows | Mac)

AKVIS Chameleon は、挿入した被写体の自動調整、対象のイメージカラー範囲の調整、被写体の境界の円滑化などができる効果的なツールです。このツールはいくつかの目的に役立ちます：写真に新しい被写体を挿入したいけれど、従来のツールよりもフレキシブルで簡単なものがほしい(コラージュ作成)、 いらぬ不具合を、イメージの近くのパーツと置き換えて隠したい(クローンツールと類似)。 [詳細情報](#)



AKVIS Charcoal — 簡単なステップで写真が木炭画になります！

(Windows | Mac)

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用して描いた絵のように変換することのできる芸術的なツールです。黒と白の著しい違いを使用した材料の統合もできます。色やオプションを使用することによって、素晴らしい芸術的な効果を作り上げることができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Coloriage — 白黒写真を色付けする

(Windows | Mac)

AKVIS Coloriage で白黒写真に息吹を！

Coloriageを使用すると、白黒写真をカラー写真として蘇らせることができるだけでなく、カラー写真の色を変更して印象を刷新したりすることができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Decorator — 被写体の模様や色を変更

(Windows | Mac)

AKVIS Decorator は、被写体表面の色や模様を違和感なく変更することができるソフトウェアです。このソフトウェアを使用すると、女性のドレス、車体、家具など、写真の一部を選択して、新しい色や模様を適用することが可能です。 [詳細情報](#)



AKVIS Draw — 手書きの鉛筆画への変換

(Windows | Mac)

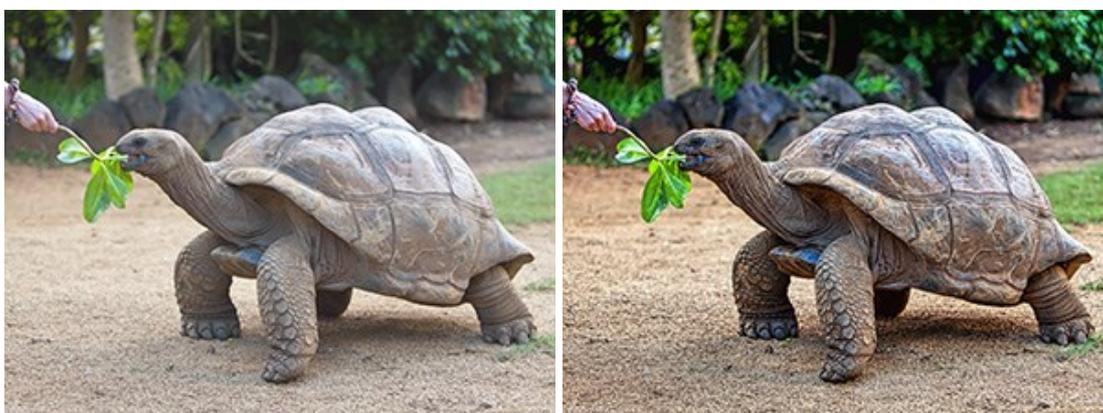
AKVIS Draw は、デジタル画像から、手書きの鉛筆画やラインアートを作成します！ソフトウェアは非常に使いやすく、ワンクリックで自然な鉛筆画を作成します。 [詳細情報](#)



AKVIS Enhancer — 詳細を引き立てるツール

(Windows | Mac)

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。 [詳細情報](#)



AKVIS Explosion — 素晴らしい粒子の爆発効果

(Windows | Mac)

AKVIS Explosion は、写真に爆発効果を追加し、砂などの粒子を適用します。このソフトウェアを使用することで、人目をひくグラフィックを数分で作成できます! [詳細情報](#)



AKVIS Frames — フレームパック

(Windows | Mac)

AKVIS Frames は、AKVISフレームパックと共に機能する無料写真校正ソフトウェアです。

このプログラムを使えば、専用の写真フレームであなたの写真を簡単にデコレートすることができます! [詳細情報](#)



AKVIS HDRFactory — 実際よりも明るい画像に!

(Windows | Mac)

AKVIS HDRFactory では、単一イメージまたは同様のイメージを複数枚を使用して、HDRイメージを作成できます。このプログラムは画像修正を行うために使用することもできます。AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを！ [詳細情報](#)



AKVIS LightShop — 光と星の効果

(Windows | Mac)

AKVIS LightShop を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。荒れ模様の空にある光、町を横切るカラフルな虹、雫に映る反射、暖炉の燃っている木の炎、夜空の中で輝く未知のサイン、太陽の揺らめく炎、遠方の惑星の光、花火 - 貴方の想像の限りに！ [詳細情報](#)



AKVIS Magnifier AI — きれいに画像解像度を上げることができます！

(Windows | Mac)

AKVIS Magnifier AI を使えば、効率的に画像解像度を上げることができます。Magnifier AIは、先進の拡大アルゴリズムを用い、ポスターサイズ印刷にまで対応できるよう、デジタル画像を驚くほど美しく超高解像度に拡大します。 [詳細情報](#)



AKVIS MakeUp — 理想の肖像画を作成しましょう！

(Windows | Mac)

AKVIS MakeUp を使うと、写真に魅力が加わり、プロのような仕上がりが期待できます。

肌に見られるシミなどのレタッチを行い、輝きがあり、美しく、滑らかで、澄んだ肌を作り出します。 [詳細情報](#)



AKVIS NatureArt — リアルな自然現象がデジタルアートで再現できる！

(Windows | Mac)

AKVIS NatureArt は、壮大な自然現象をデジタル写真に再現するための素晴らしいツールです。自然の効果は、私たちが受ける印象に与える影響が大きく、写真からくる印象を強調するために使用することもできます。自然現象の効果を劇的に追加したり、天気を変えたりできます! [詳細情報](#)



AKVIS Neon — グローエフェクト

(Windows | Mac)

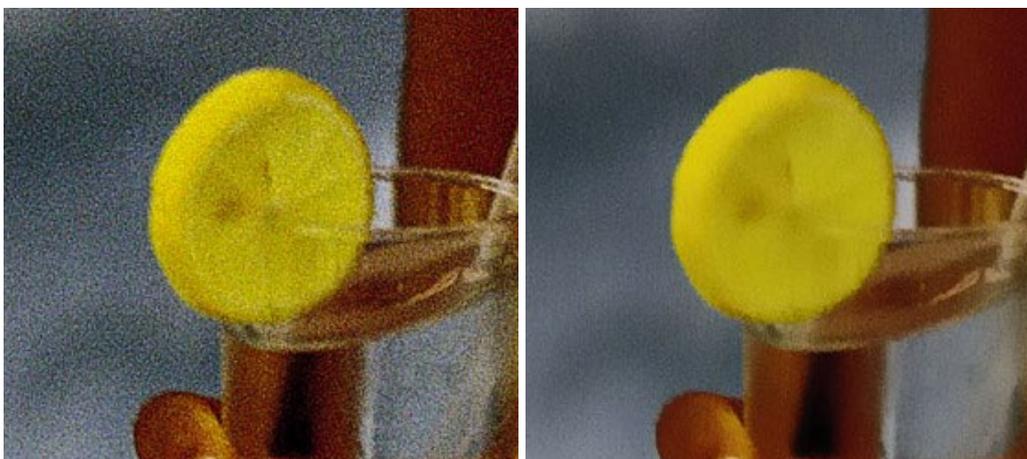
AKVIS Neon は、ネオンのような発光インクを使用して描いたように見える写真に変換します。このツールを使用すると、驚くような輝くラインエフェクトを作成できます。まるで光を使って描く画家になったような気分が味わえます! [詳細情報](#)



[AKVIS Noise Buster — デジタルノイズリダクション](#)

(Windows | Mac)

AKVIS Noise Buster を使用すると、写真の印象を損なうことなく、デジタル写真上の輝度ノイズとカラー ノイズの両方を低減することができ、プロの写真家が撮影したような仕上がりが得られます。デジタル ノイズが生じる要因はいくつか考えられます。カメラ マトリクスの加熱、長時間露出撮影、スモール ピクセル サイズ (これが原因で、デジタル コンパクト カメラを使用した場合、デジタル SLR よりもノイズの多い写真が生成されてしまう)、高 ISO 設定などがその要因です。 [詳細情報](#)



[AKVIS OilPaint — 油絵効果](#)

(Windows | Mac)

AKVIS OilPaint は、写真を油絵に変換するソフトウェアです。プログラムの特長は、ブラシ ストロークの芸術的な適用を行うユニークなアルゴリズムにより、可能な限り本物のブラシで描いたように見えるよう変換されるという点です。 [詳細情報](#)



[AKVIS Pastel — 写真をパステル画に変換](#)

(Windows | Mac)

AKVIS Pastel は写真をパステル画調に変換します。このプログラムは、芸術的テクニックの一つでもあるパステルアートをデジタル画像で作りださうというものです。
[詳細情報](#)



AKVIS Points — 点描

(Windows | Mac)

プログラムを使用することで、イメージを点描画法を使用した芸術作品に変換できます。写真であっても、点描画法を使用した素晴らしい絵画になります! [詳細情報](#)



AKVIS Refocus — ピンボケの修正とぼかし効果

(Windows | Mac)

AKVIS Refocus は、ピンぼけたイメージを鮮明にします。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、背景に対して手前の被写体などが目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。本ソフトウェアには、[リフォーカス]、[逆ティルト効果]、[アイリスぼかし]、[移動ぼかし]、[放射状ぼかし]の5つのモードがあります。[詳細情報](#)



AKVIS Retoucher — 画像修復ソフトウェア

(Windows | Mac)

AKVIS Retoucher は、傷やチリを効果的に除去できるソフトウェアです。Retoucherでは、チリ、傷、破片、しみ、水腐れ、その他損傷を受けた写真に見受けられる不具合を除去することができます。Retoucherは、生産性を向上し、表面の不具合による作業を減らすことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Sketch — 写真から鉛筆画を作成しましょう！

(Windows | Mac)

AKVIS Sketch は、写真を鉛筆画や水彩画に自動的に変換するためのソフトウェアです。Sketch を使うと、黒鉛や色鉛筆、木炭や水彩の技法を真似て、実際に描いたようなカラーや白黒の絵を作成することができます。 [詳細情報](#)



AKVIS SmartMask — 選択範囲の作成を簡単にします

(Windows | Mac)

AKVIS SmartMask は楽しみながら使え、時間も節約できる効率的な選択範囲用ツールです。今までにはない、シンプルな選択範囲用ツールです！ 選択範囲の指定にかかる時間が短縮される分、創作活動に時間を使うことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Watercolor — 水彩画

(Windows | Mac)

AKVIS Watercolor は、本物さながらの素晴らしい水彩画を生成できます。 [詳細情報](#)

